

# 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 結果報告書 概要版

令和2年6月  
射水市



# 目 次

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査の種類と実施方法	1
3 回収結果	1
4 報告書をみる際の注意	1
II. 調査結果	2
回答者について	2
(1) 生活圏域	2
(2) 性別・及び年齢	2
(3) 要介護状態区分	3
1. あなたの性別・年齢、ご家族や生活状況について	3
(6) 介護・介助の必要性	3
(6) ①介護・介助が必要になった原因	4
(6) ②介護・介助者	5
(7) 現在の暮らしの経済的状況	6
(9) 住んでいて困っていること	7
(10) 定住意向	7
(11) 定住に必要な環境	8
2. からだを動かすことについて	9
(8) ①外出を控えている理由	9
3. 食べることについて	10
(1) BMI	10
(8) 誰かと食事をともにする機会	10
4. 毎日の生活について	11
(12) 友人の家へ訪問している	11
(13) 家族や友人の相談にのっている	11
(14) 趣味の有無	12
(15) 生きがいの有無	12
5. 地域での活動について	13
(1) 地域活動への参加状況	13
(2) 地域活動へ参加者としての参加意向	14
(3) 地域活動へ企画・運営としての参加意向	15
6. たすけあいについて	16
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	16
(3) 看病や世話をしてくれる人	16
(5) 家族や友人・知人以外の相談相手	17
(6) 友人・知人と会う頻度	18
(8) よく会う友人・知人との関係	18
7. 健康について	19

(1) 現在の健康状態	19
(2) 現在の幸福度	20
(7) 現在治療中、または後遺症のある病気	21
8. 地域包括支援センターについて	22
(1) 地域包括支援センターの認知	22
(2) 地域包括支援センターを知ったところ	23
9. 認知症にかかる相談窓口の把握について	24
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる	24
(2) 認知症に関する相談窓口を知っている	24
10. 認知症対策について	25
(1) 認知症に対する不安	25
(2) 軽度認知障害(MCI)の認知	25
(3) 認知症の人が地域で暮らしていくために必要な支援	26
11. 自身の人生の最終段階における医療について	27
(1) 人生の最終段階における医療・療養について考えた経験	27
(1) ①医療・療養について家族や医療介護関係者との話し合いの経験	27
(1) ②意思決定できなくなった時に備えた書面の作成	28
12. 成年後見制度について	28
(1) 成年後見制度の認知	28
13. 今後の高齢者福祉施策について	29
(1) 高齢者保健福祉施策で市が力を入れていくべきもの	29
(2) 今後の介護保険料について	31
14. 基本チェックリストによる判定について	32
運動器機能リスク判定	32
転倒リスク判定	32
閉じこもりリスク判定	33
低栄養リスク判定	33
口腔機能リスク判定	34
認知機能リスク判定	34
うつ傾向リスク判定	35
IADLリスク判定	35
Ⅲ. 結果の概要	37
2 まとめ	37

※問番号などの数字は報告書と対応させているため、数字が飛び飛びになっています。

# I . 調査の概要

## 1 調査目的

本調査は、介護保険制度を取り巻く状況の把握とともに、第7期計画における介護給付実績の検証及び高齢者福祉施策の実施状況等について調査・分析し、諸課題を明らかにしたうえで、高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画案を策定することを目的として実施しました。

## 2 調査の種類と実施方法

調査対象	要介護認定を受けている方を除く市内在住の65歳以上の方
配布数	5,000人 を無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	令和2年1月23日～2月6日

## 3 回収結果

配布数	回収数	有効回収数
5,000人	3,736人 (回収率 74.7%)	3,736人 (回収率 74.7%)

## 4 報告書を見る際の注意

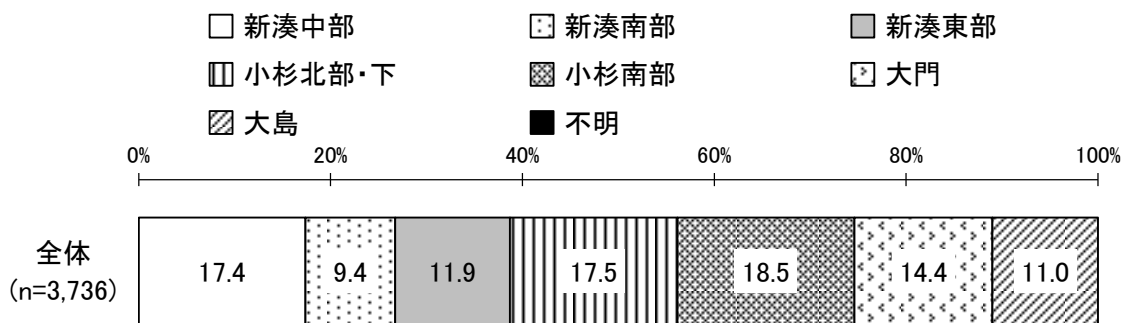
- ・ 回答項目の比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答については、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ 図表中の「n=〇〇」とは、集計対象者総数(または分類別の該当対象者数)を示しています。
- ・ グラフに関しては、単数回答は帯グラフ、複数回答は棒グラフとなっています。棒グラフは、すべて割合による降順となっています。
- ・ 帯グラフは0.0%表記を省略しています。

## Ⅱ. 調査結果

### 回答者について

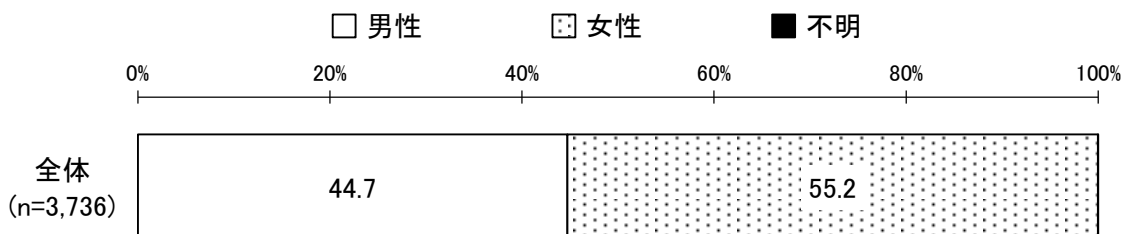
#### (1) 生活圏域

生活圏域については、全体では「小杉南部」の割合が18.5%で最も高く、次いで「小杉北部・下」(17.5%)、「新湊中部」(17.4%)などの順となっています。

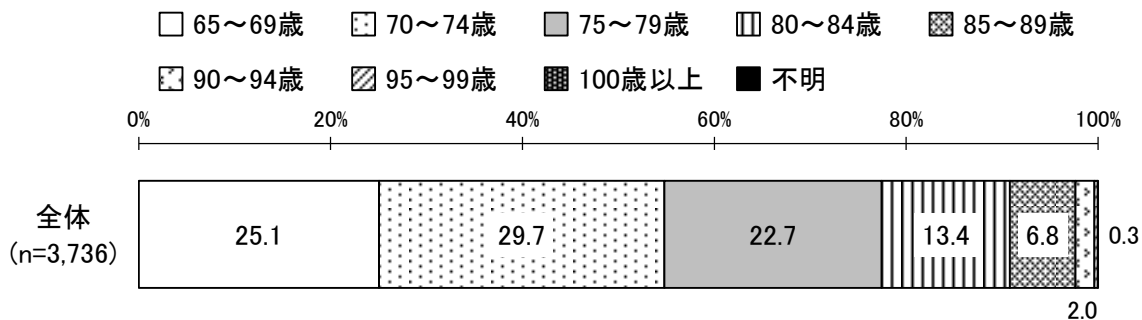


#### (2) 性別・及び年齢

性別・及び年齢については、全体では「女性」の割合が55.2%で、「男性」(44.7%)を上回っています。

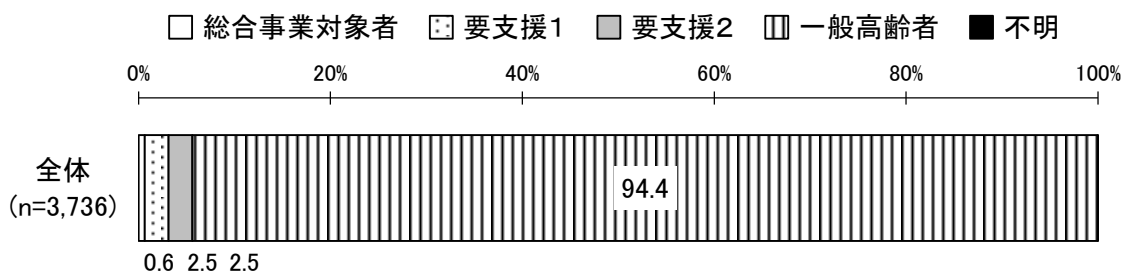


年齢については、全体では「70～74歳」の割合が29.7%で最も高く、次いで「65～69歳」(25.1%)、「75～79歳」(22.7%)などの順となっています。



### (3) 要介護状態区分

要介護状態区分については、全体では「一般高齢者」の割合が94.4%で最も高く、ほとんどの割合を占めています。次いで「要支援1」「要支援2」（同率2.5%）、「総合事業対象者」（0.6%）の順となっています。



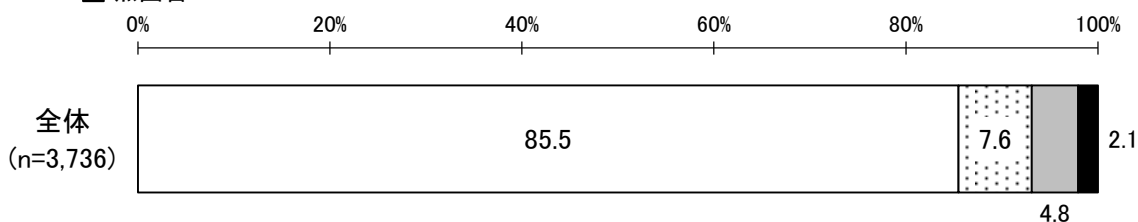
## 1. あなたの性別・年齢、ご家族や生活状況について

### (6) 介護・介助の必要性

問1 (6) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

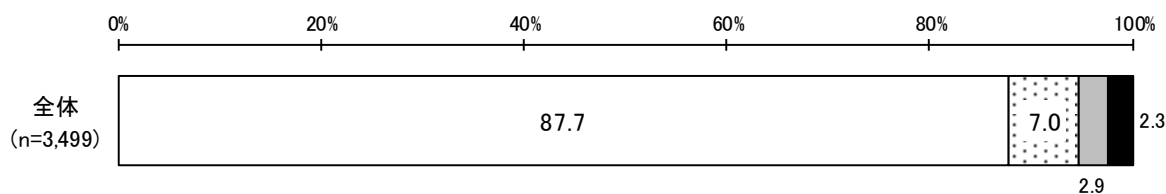
介護・介助の必要性については、全体では「介護・介助は必要ない」の割合が85.5%で最も高く、8割半ばを占めています。次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」（7.6%）、「現在、何らかの介護を受けている」（4.8%）の順となっています。

- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
- 無回答



< 前回調査 >

- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
- 無回答

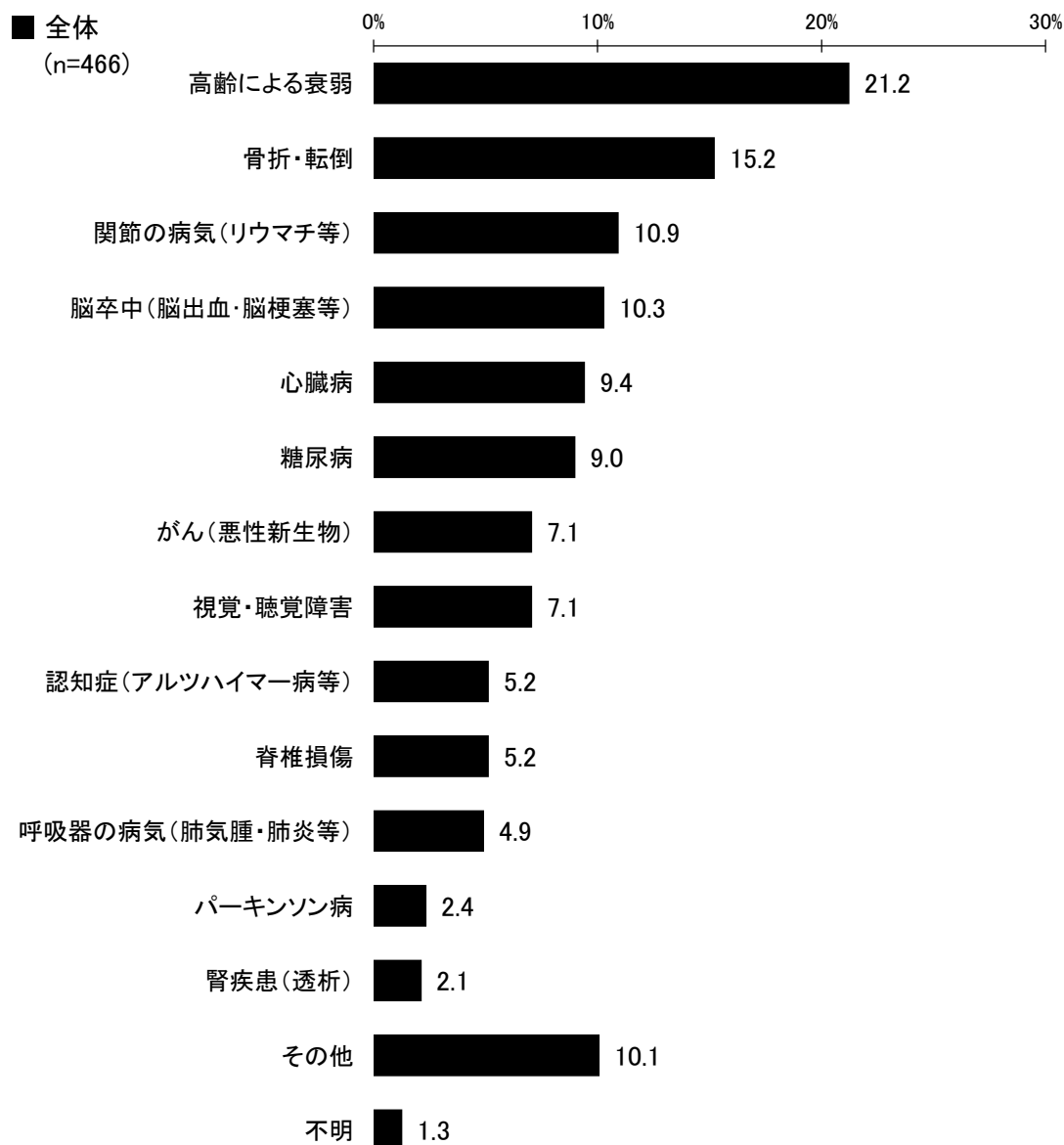


## (6) ①介護・介助が必要になった原因

【問1(6)において「介護・介助は必要ない」以外を選択した方のみ回答】

問1(6) ①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか【複数回答】

介護・介助が必要になった原因については、全体では「高齢による衰弱」の割合が21.2%で最も高く、次いで「骨折・転倒」(15.2%)、「関節の病気(リウマチ等)」(10.9%)などの順となっています。



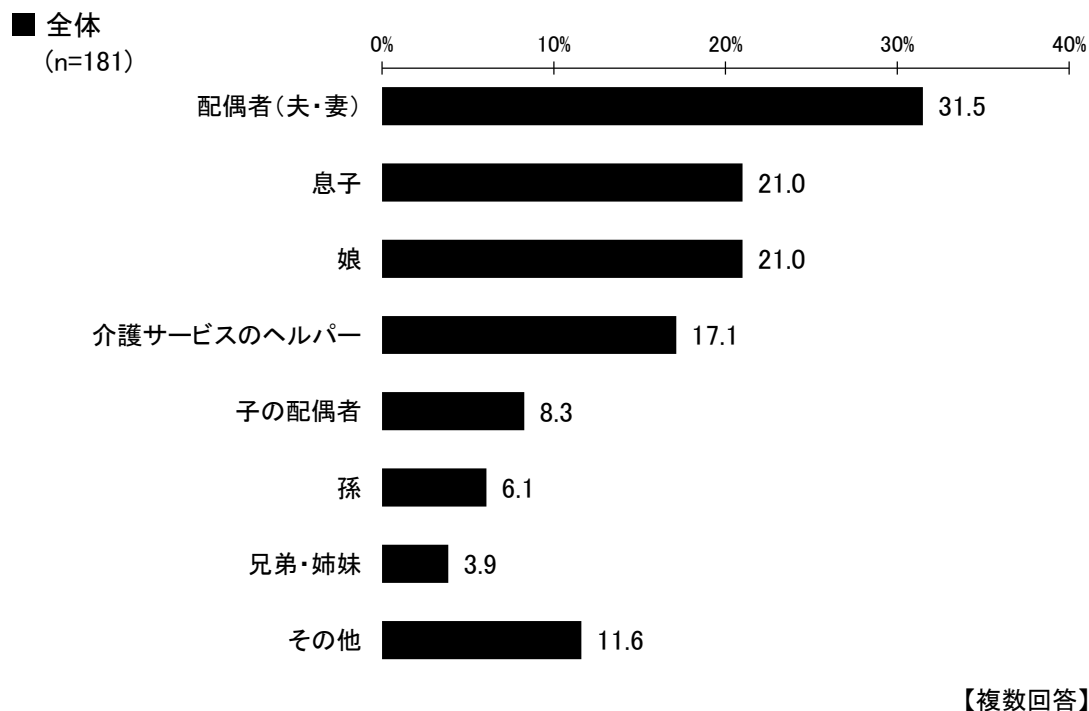
【複数回答】



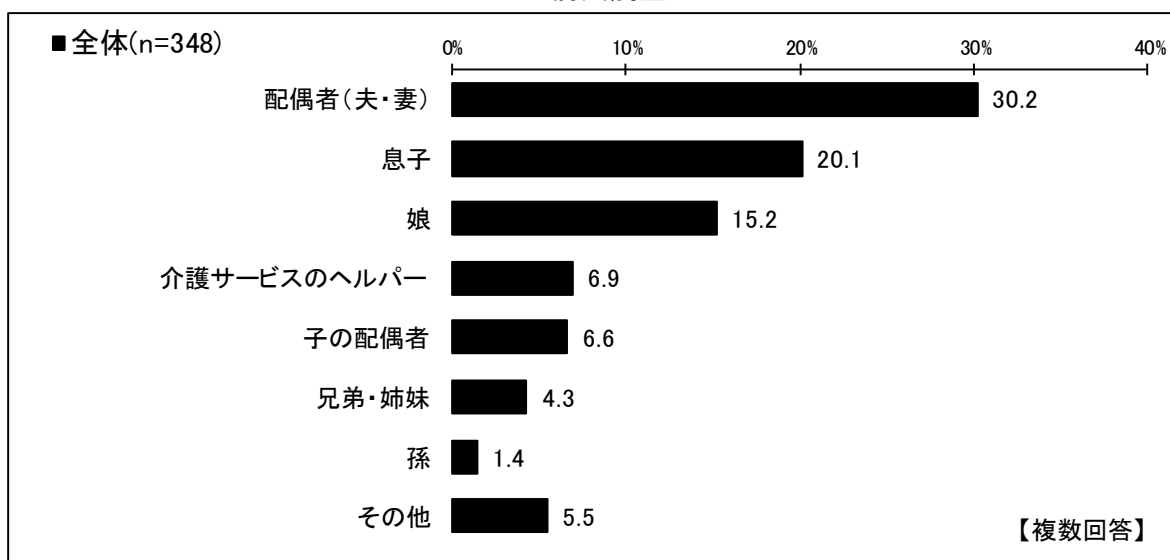
## (6) ②介護・介助者

【問1(6)において「現在、何らかの介護を受けている」を選択した方のみ回答】  
 問1(6)②主にどなたの介護、介助を受けていますか【複数回答】

介護・介助者については、全体では「配偶者(夫・妻)」の割合が31.5%で最も高く、次いで「息子」「娘」(同率21.0%)、「介護サービスのヘルパー」(17.1%)などの順となっています。



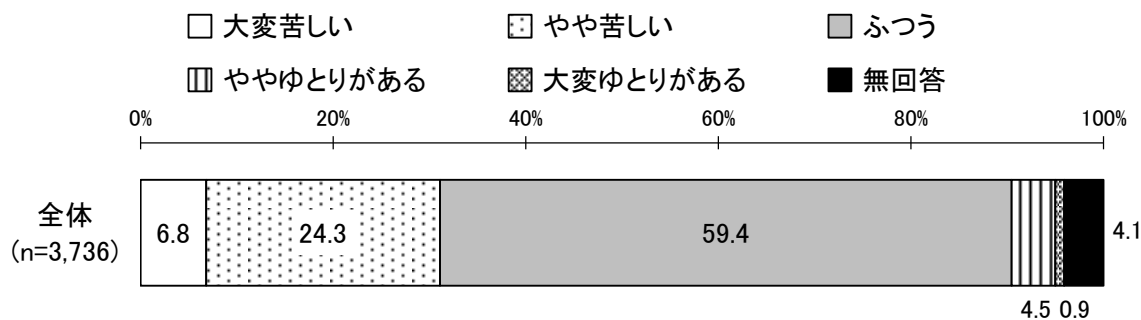
### < 前回調査 >



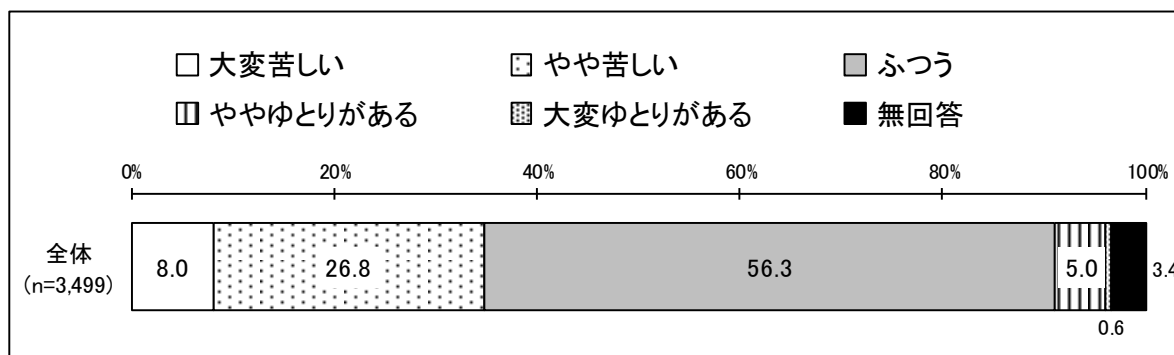
## (7) 現在の暮らしの経済的状况

### 問1 (7) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

現在の暮らしの経済的状况については、全体では「ふつう」の割合が59.4%で最も高く、次いで「大変苦しい」(6.8%)と「やや苦しい」(24.3%)を合わせた“苦しい”(31.1%)、「ややゆとりがある」(4.5%)と「大変ゆとりがある」(0.9%)を合わせた“ゆとりがある”(5.4%)の順となっています。



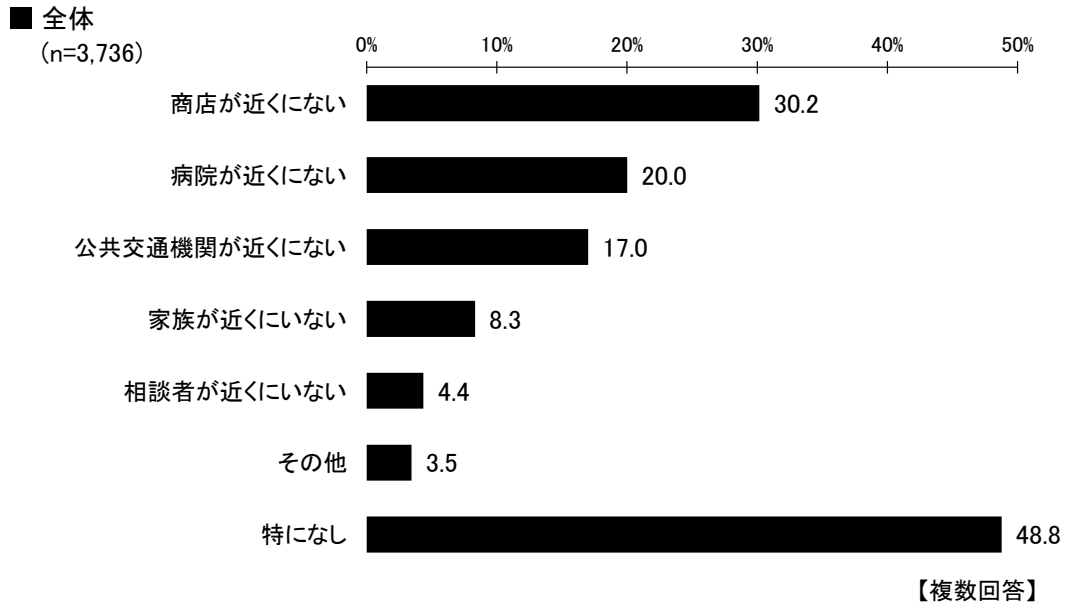
### <前回調査>



## (9) 住んでいて困っていること

### 問1 (9) 現在の場所に住んでいて困っていることはありますか【複数回答】

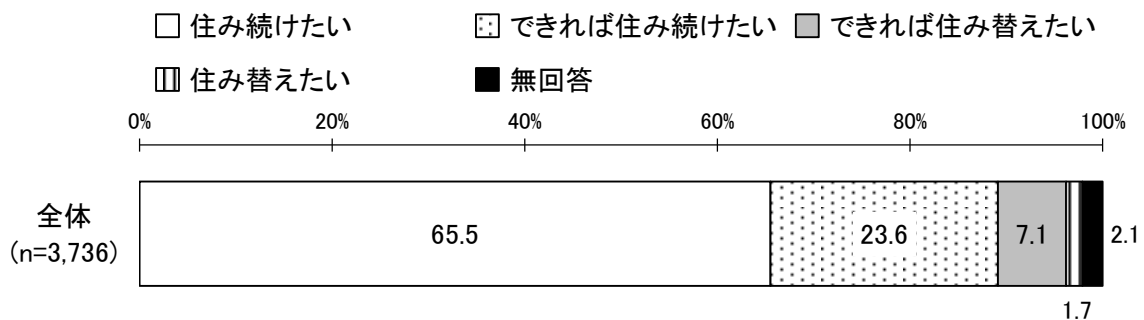
住んでいて困っていることについては、全体では「商店が近くにない」の割合が30.2%で最も高く、次いで「病院が近くにない」(20.0%)、「公共交通機関が近くにない」(17.0%)などの順となっています。なお、「特になし」は48.8%となっています。



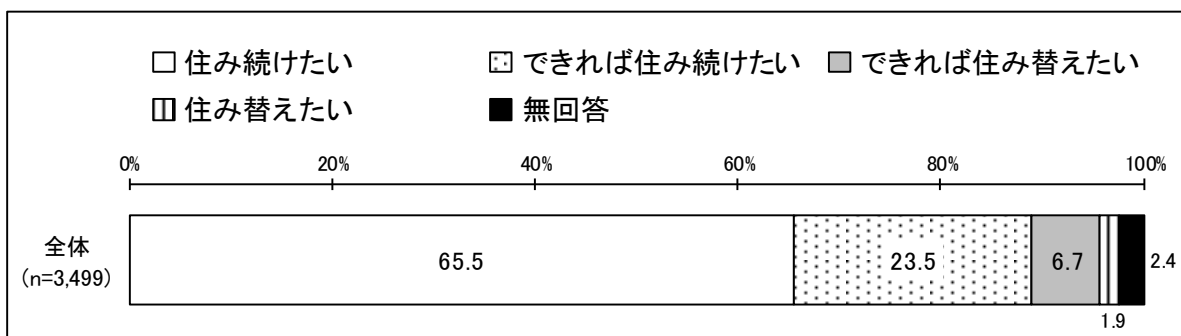
## (10) 定住意向

### 問1 (10) 今後も現在の場所に住み続けたいと思いますか

定住意向については、全体では「住み続けたい」の割合が65.5%で最も高く、次いで「できれば住み続けたい」(23.6%)、「できれば住み替えたい」(7.1%)などの順となっています。



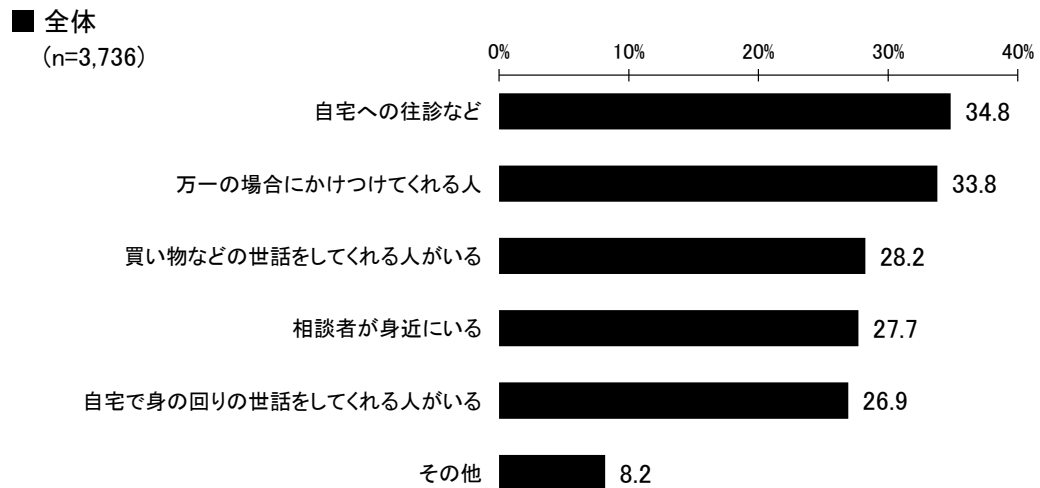
< 前回調査 >



## (11) 定住に必要な環境

### 問1 (11) 現在の場所に住み続けるには、どのような環境が必要ですか【複数回答】

定住に必要な環境については、全体では「自宅への往診など」の割合が34.8%で最も高く、次いで「万一の場合にかけつけてくれる人」(33.8%)、「買い物などの世話をしてくれる人がある」(28.2%)などの順となっています。



【複数回答】

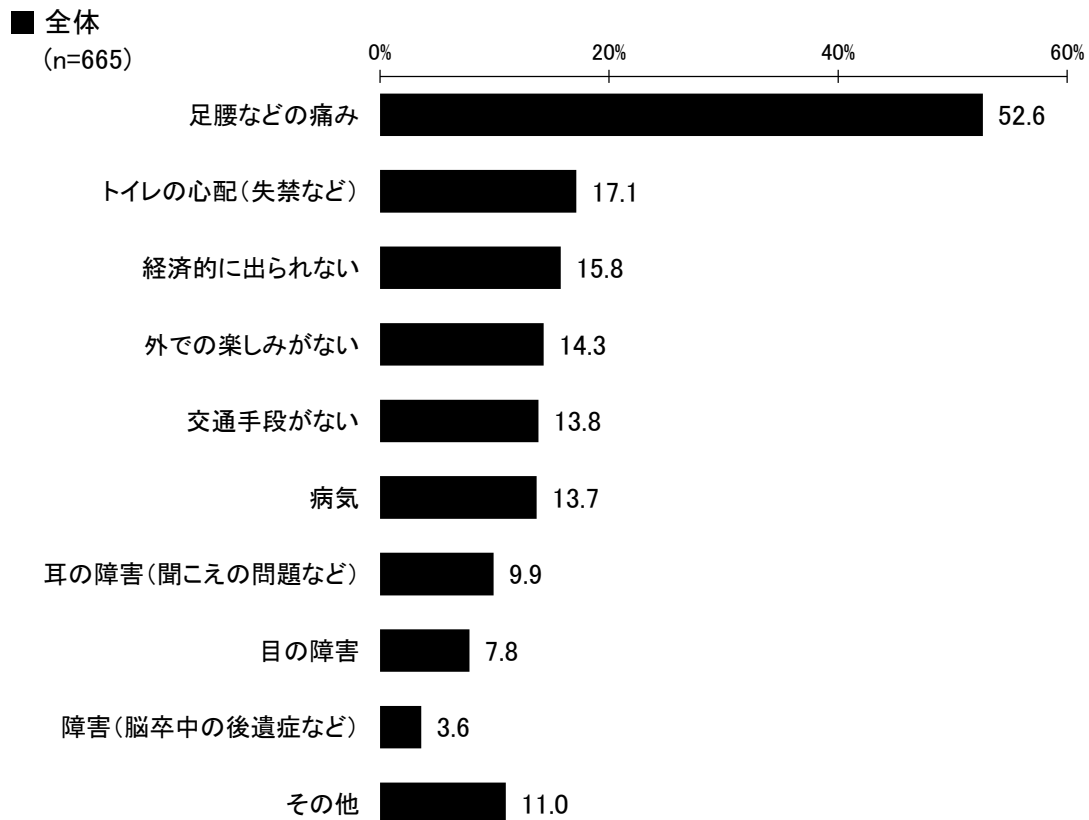
## 2. からだを動かすことについて

### (8) ①外出を控えている理由

【問2(8)で「はい」を選択した方のみ回答】

問2(8)①外出を控えている理由は、次のどれですか【複数回答】

外出を控えている理由については、全体では「足腰などの痛み」の割合が52.6%で最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」(17.1%)、「経済的に出られない」(15.8%)などの順となっています。



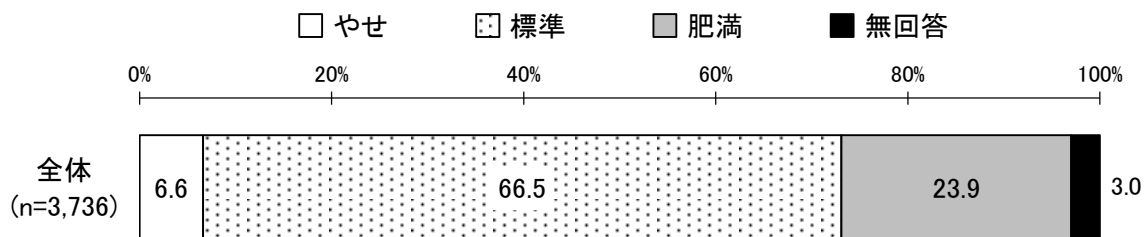
【複数回答】

### 3. 食べることについて

#### (1) BMI

問3 (1) 身長・体重 ※BMIとして算出

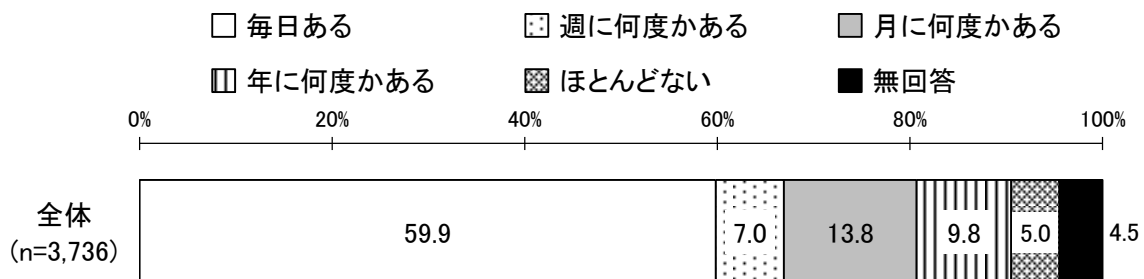
BMIについては、全体では「標準」の割合が66.5%で最も高く、次いで「肥満」(23.9%)、「やせ」(6.6%)の順となっています。



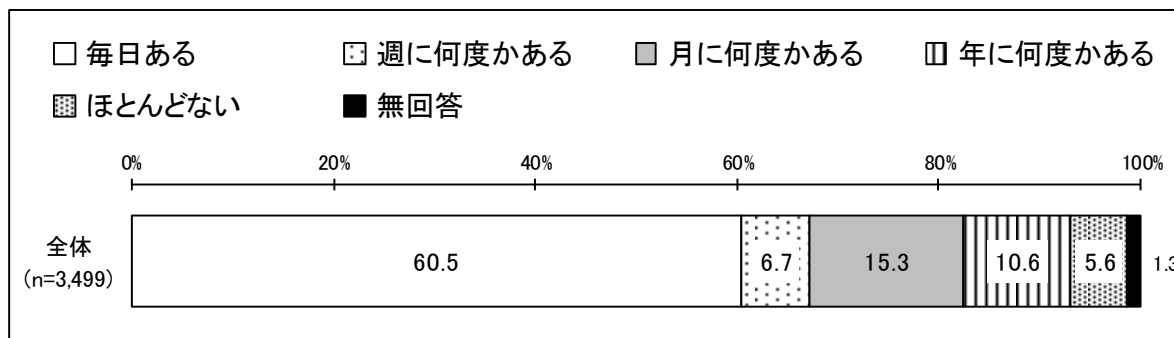
#### (8) 誰かと食事をとにもする機会

問3 (8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

誰かと食事をとにもする機会については、全体では「毎日ある」の割合が59.9%で最も高く、次いで「月に何度かある」(13.8%)、「年に何度かある」(9.8%)などの順となっています。



<前回調査>

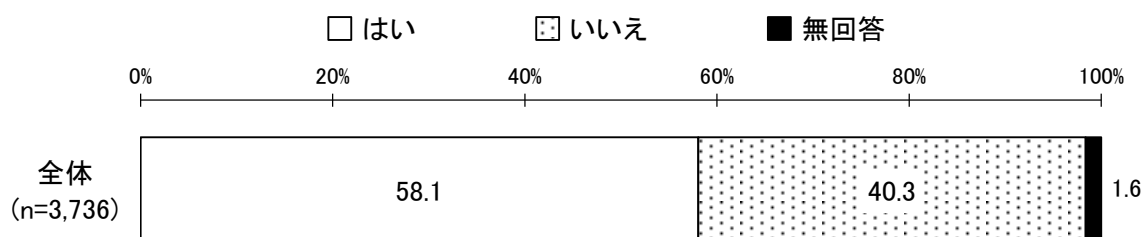


## 4. 毎日の生活について

### (12) 友人の家へ訪問している

#### 問 4 (12) 友人の家を訪ねていますか

友人の家へ訪問しているかについては、全体では「はい」の割合が58.1%で、「いいえ」(40.3%)を上回っています。



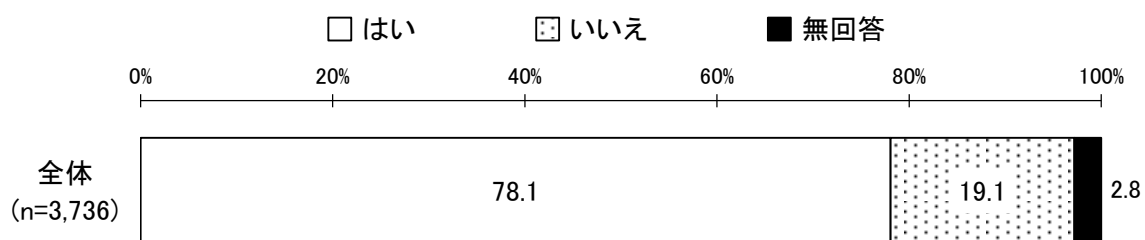
### (13) 家族や友人の相談にのっている

#### 問 4 (13) 家族や友人の相談にのっていますか

家族や友人の相談にのっているかについては、全体では「はい」の割合が78.1%で、「いいえ」(19.1%)を上回っています。

年齢層別でみると、95歳未満の年齢層は「はい」の割合が「いいえ」を上回っていますが、年齢層があがるにつれ減少していく傾向にあり、95～99歳は「いいえ」の割合が「はい」を上回っています。

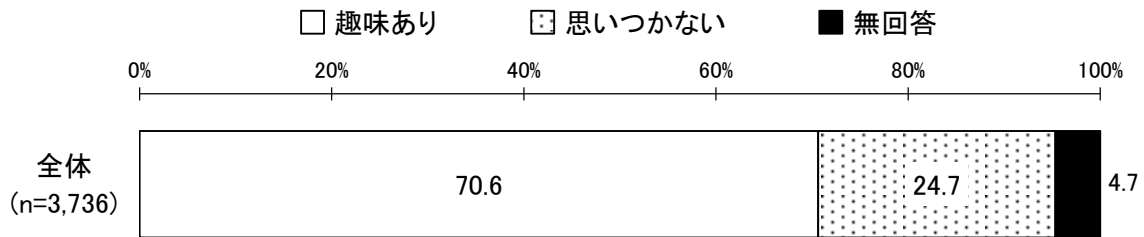
生活圏域別でみると、ほとんどの圏域で「はい」の割合が7割台となっていますが、小杉北部・下は80.1%と8割を超えています。



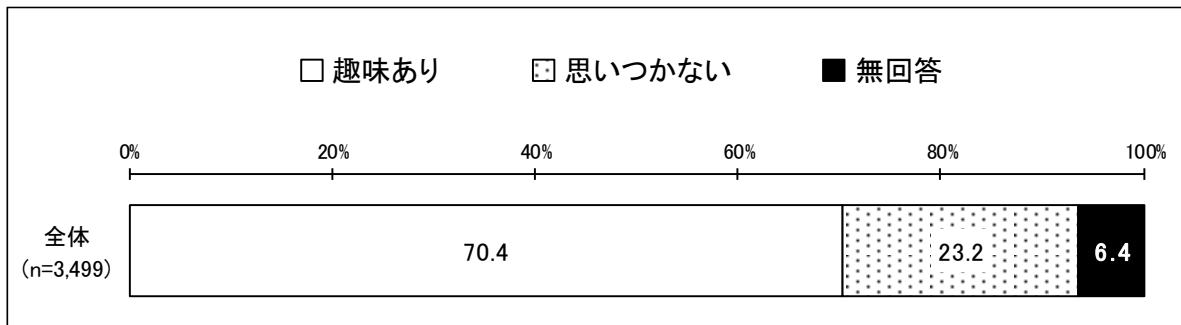
## (14) 趣味の有無

### 問4 (14) 趣味はありますか

趣味の有無については、全体では「趣味あり」の割合が70.6%で、「思いつかない」(24.7%)を上回っています。



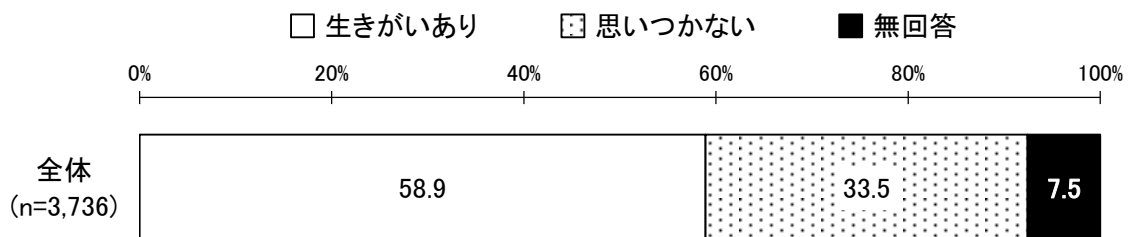
### < 前回調査 (趣味) >



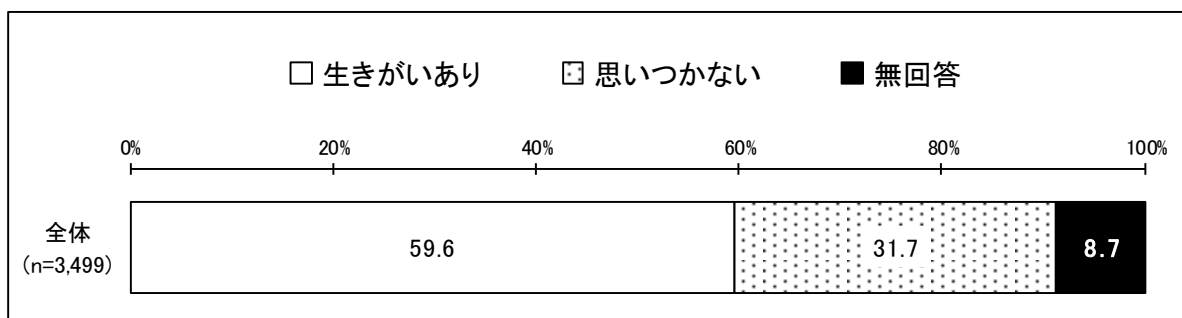
## (15) 生きがいの有無

### 問4 (15) 生きがいはありますか

生きがいの有無については、全体では「生きがいあり」の割合が58.9%で、「思いつかない」(33.5%)を上回っています。



### < 前回調査 (生きがい) >





## 5. 地域での活動について

### (1) 地域活動への参加状況

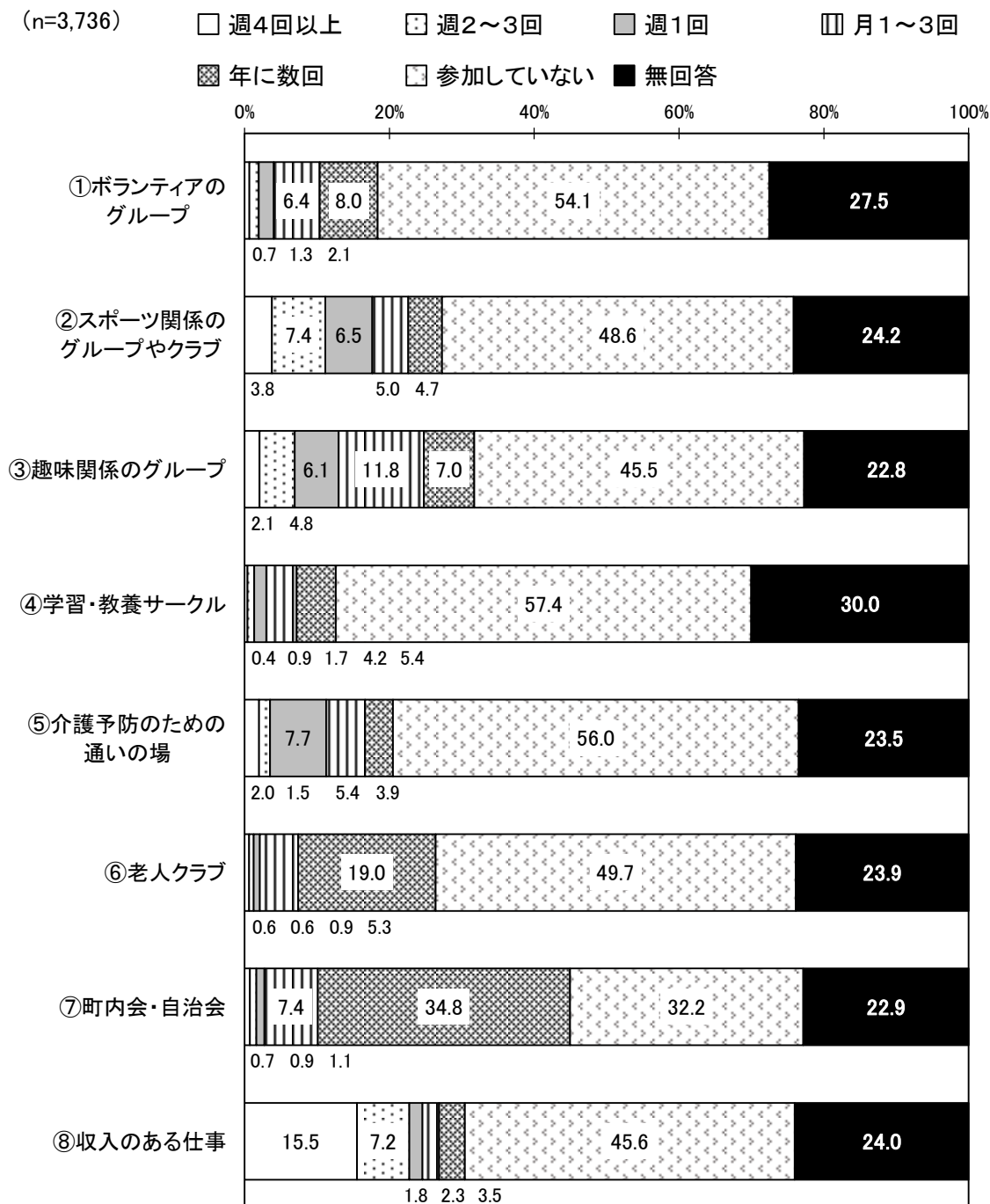
問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

地域活動への参加状況については、『⑦町内会・自治会』は「年に数回」、それ以外の会・グループは「参加していない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。「年に数回」以上に回答した“参加している”の割合をみると、『⑦町内会・自治会』が最も高く、次いで『③趣味関係のグループ』、『⑧収入のある仕事』などの順となっています。

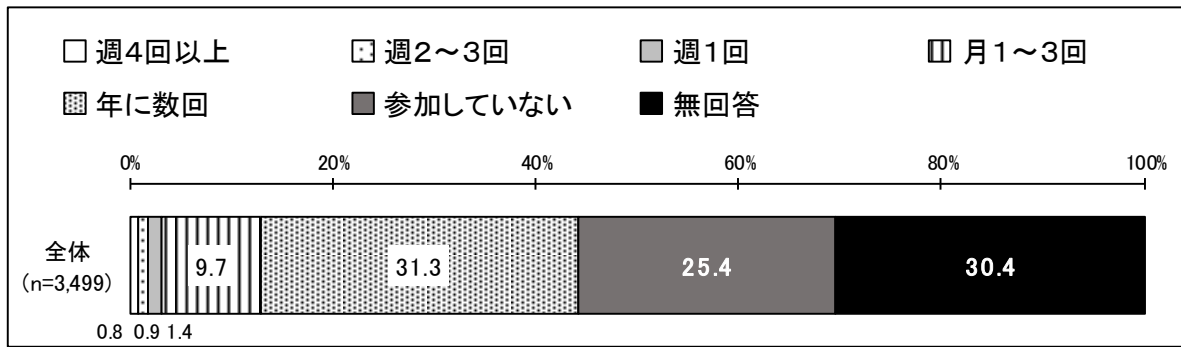
また、参加頻度については、『⑧収入のある仕事』が最も高い割合で、「週1回」以上に回答した“高頻度”の割合が24.5%となっています。

全体

(n=3,736)



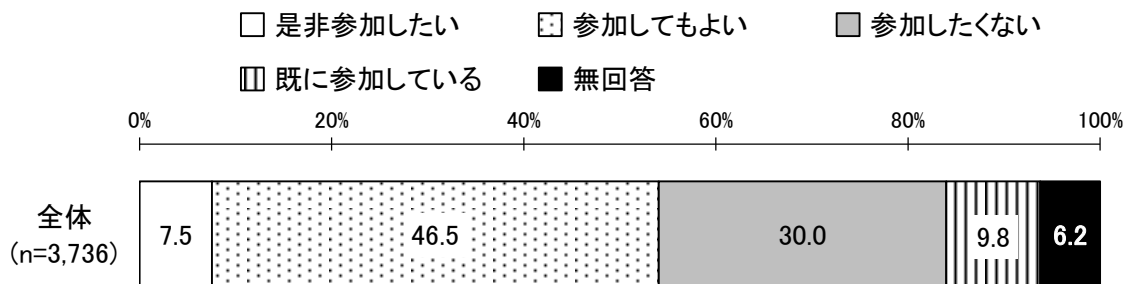
<前回調査（町内会・自治会）>



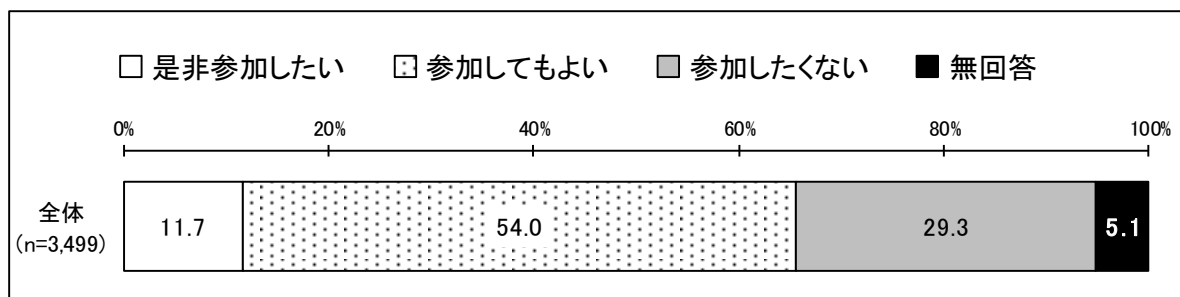
(2) 地域活動へ参加者としての参加意向

問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

地域活動へ参加者としての参加意向については、全体では「是非参加したい」（7.5%）と「参加してもよい」（46.5%）を合わせた“参加意向あり”の割合が54.0%で、「参加したくない」（30.0%）を上回っています。なお、「既に参加している」の割合は9.8%となっています。



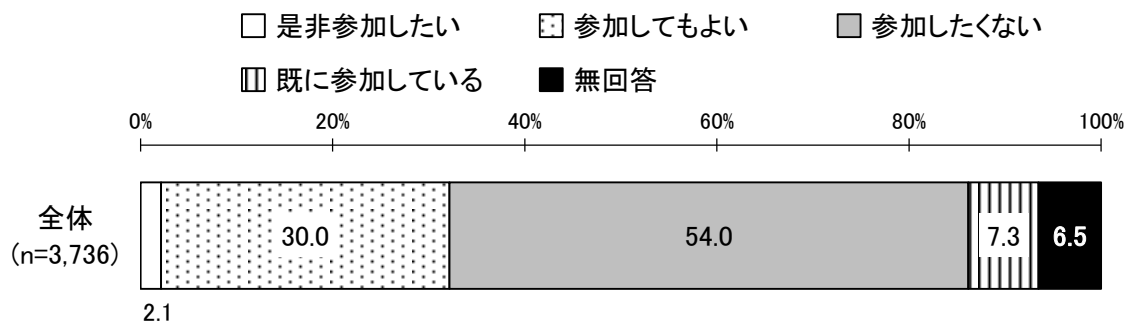
<前回調査>



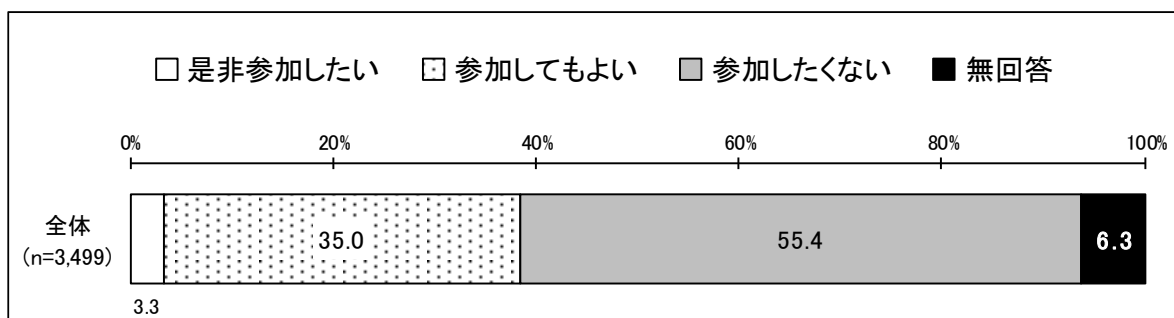
### (3) 地域活動へ企画・運営としての参加意向

問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

地域活動へ企画・運営としての参加意向については、全体では「参加したくない」の割合が54.0%で、「是非参加したい」（2.1%）と「参加してもよい」（30.0%）を合わせた“参加意向あり”（32.1%）を上回っています。なお、「既に参加している」の割合は7.3%となっています。



<前回調査>

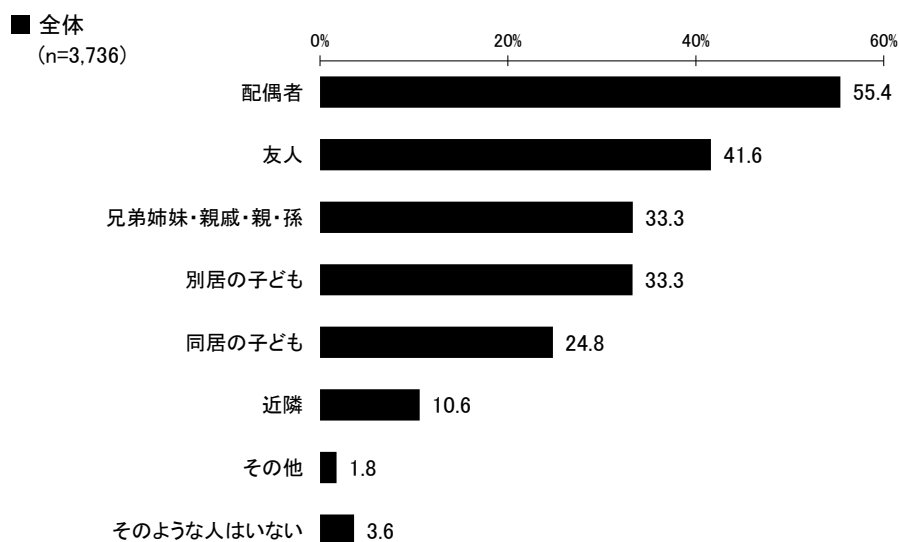


## 6. たすけあいについて

### (1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

#### 問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人【複数回答】

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、全体では「配偶者」の割合が55.4%で最も高く、次いで「友人」(41.6%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「別居の子ども」(同率33.3%)などの順となっています。

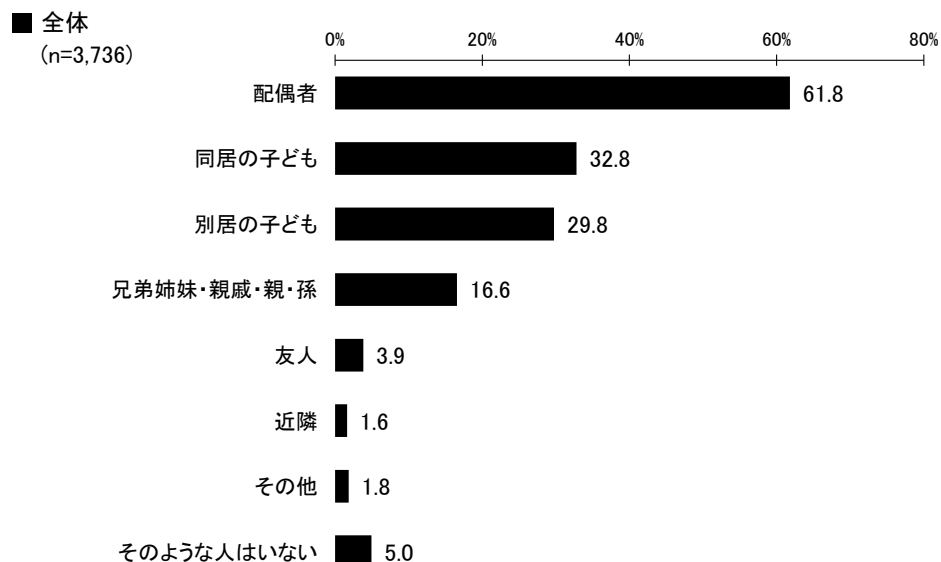


【複数回答】

### (3) 看病や世話をしてくれる人

#### 問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人【複数回答】

看病や世話をしてくれる人については、全体では「配偶者」の割合が61.8%で最も高く、次いで「同居の子ども」(32.8%)、「別居の子ども」(29.8%)などの順となっています。

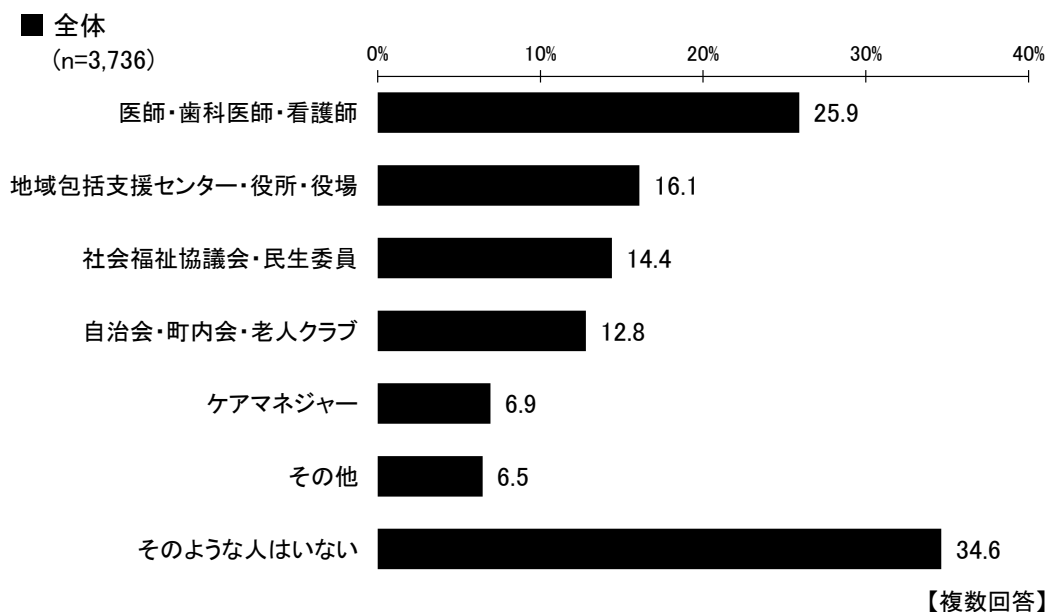


【複数回答】

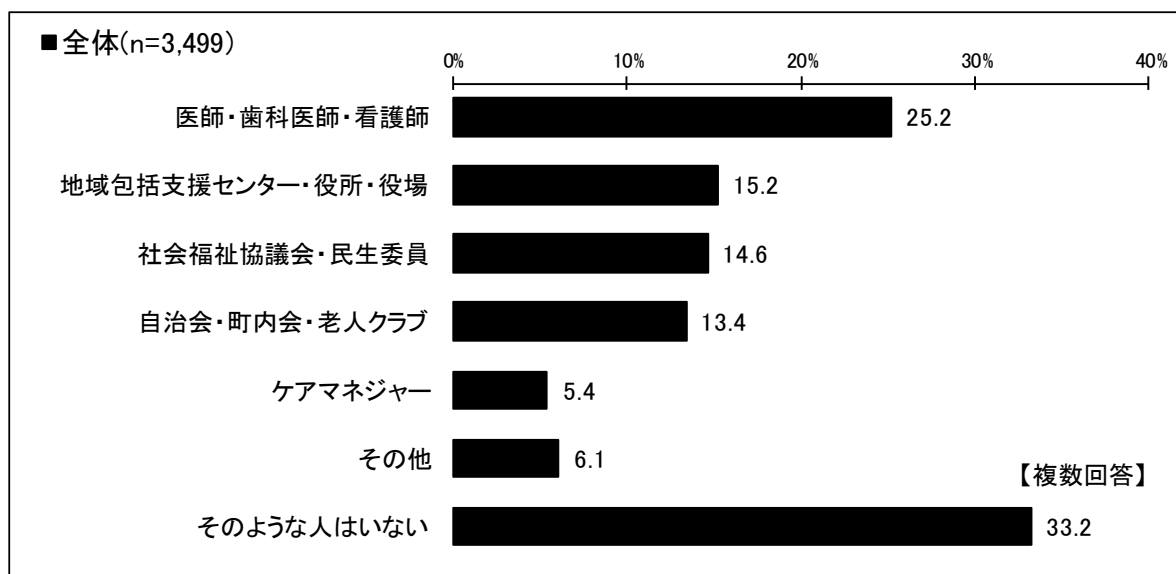
## (5) 家族や友人・知人以外の相談相手

問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください  
【複数回答】

家族や友人・知人以外の相談相手については、全体では「医師・歯科医師・看護師」の割合が25.9%で最も高く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」(16.1%)、「社会福祉協議会・民生委員」(14.4%)などの順となっています。なお、「そのような人はいない」の割合は34.6%となっています。



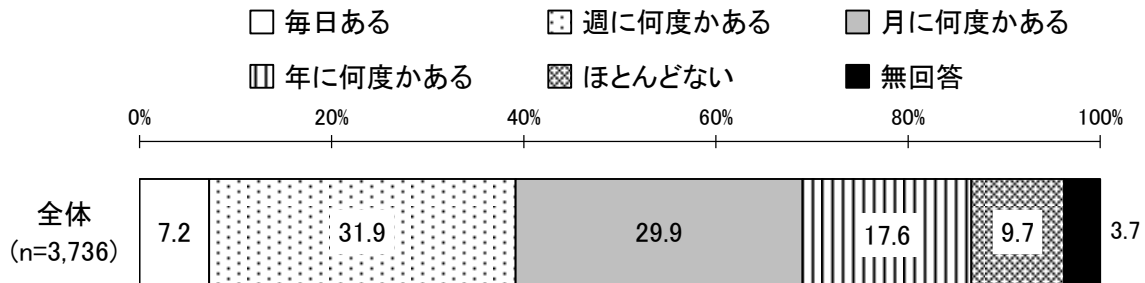
< 前回調査 >



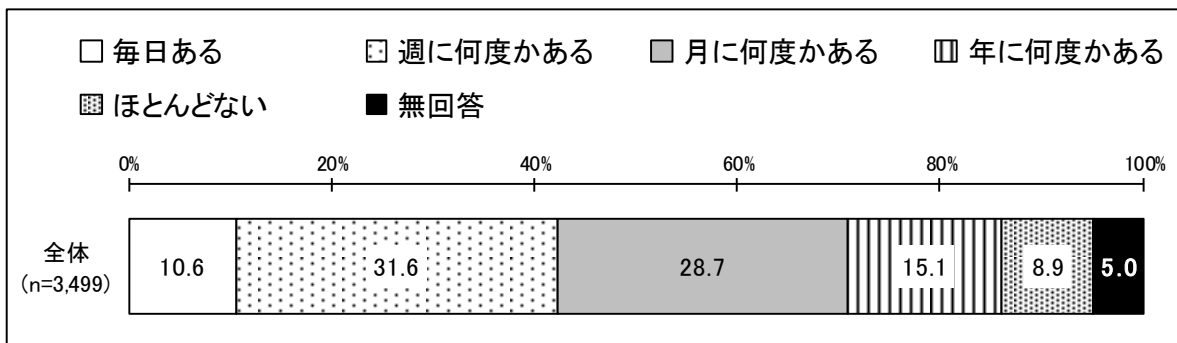
## (6) 友人・知人と会う頻度

### 問6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

友人・知人と会う頻度については、全体では「週に何度かある」の割合が31.9%で最も高く、次いで「月に何度かある」(29.9%)、「年に何度かある」(17.6%)などの順となっています。



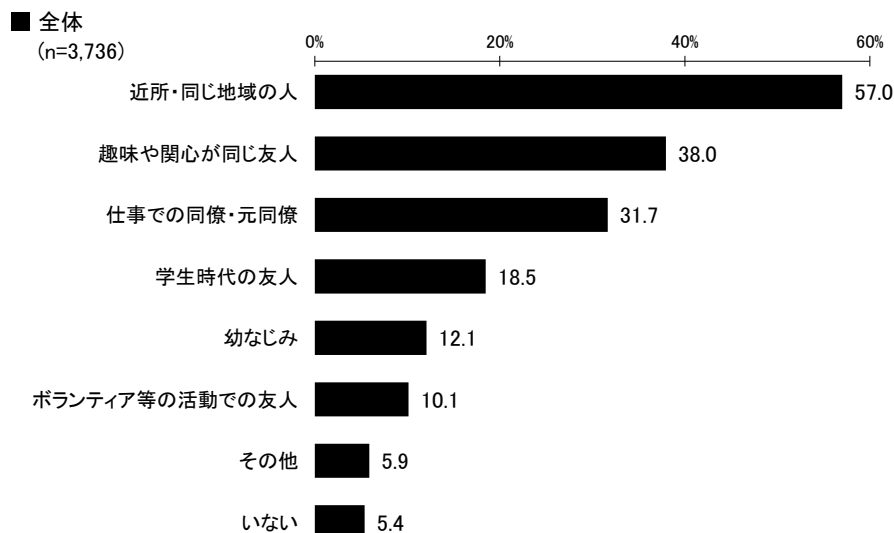
### < 前回調査 >



## (8) よく会う友人・知人との関係

### 問6 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか【複数回答】

よく会う友人・知人との関係については、全体では「近所・同じ地域の人」の割合が57.0%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(38.0%)、「仕事での同僚・元同僚」(31.7%)などの順となっています。

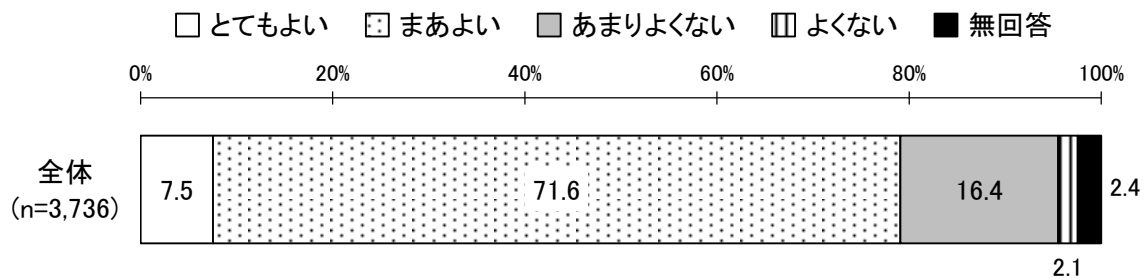


## 7. 健康について

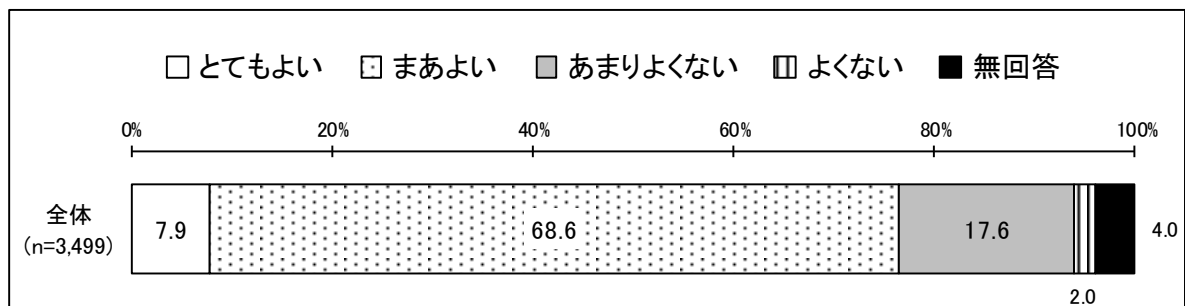
### (1) 現在の健康状態

#### 問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

現在の健康状態については、全体では「とてもよい」(7.5%)と「まあよい」(71.6%)を合わせた“良好”の割合が79.1%で、「あまりよくない」(16.4%)と「よくない」(2.1%)を合わせた“不良” (18.5%)を大きく上回っています。



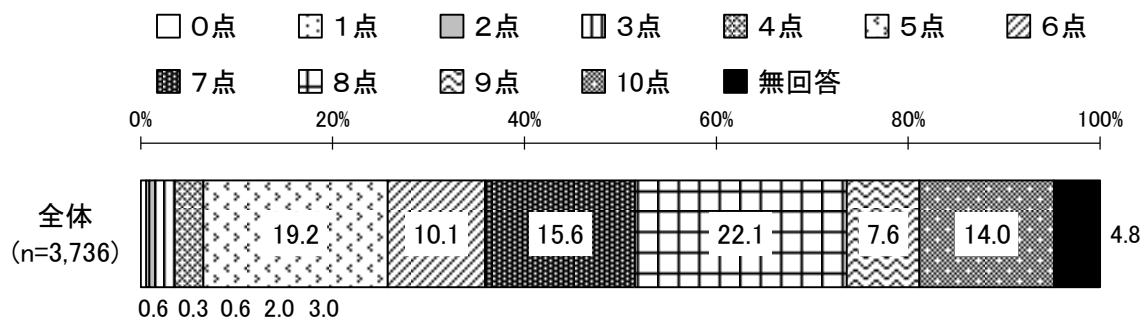
#### <前回調査>



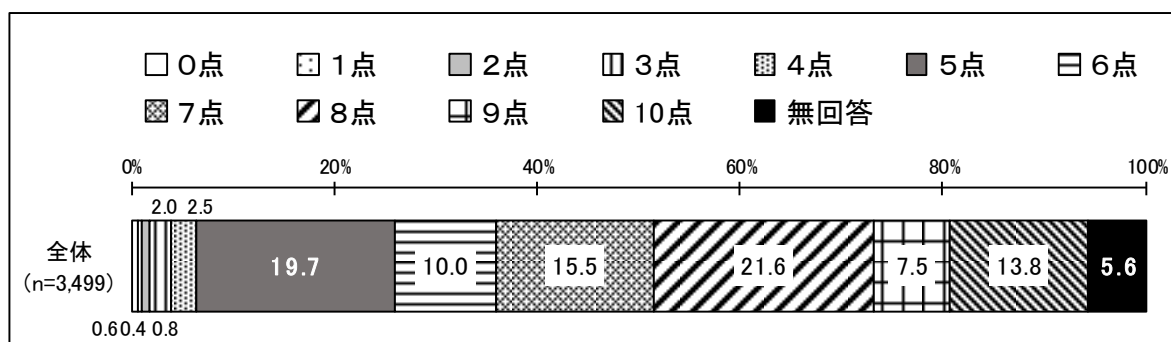
## (2) 現在の幸福度

問7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

現在の幸福度については、0～4点を“低得点群”、5～7点を“中得点群”、8～10点を“高得点群”としてみると、全体では“中得点群”の割合が44.9%で最も高く、次いで“高得点群”（43.7%）、“低得点群”（6.5%）の順となっています。



< 前回調査 >



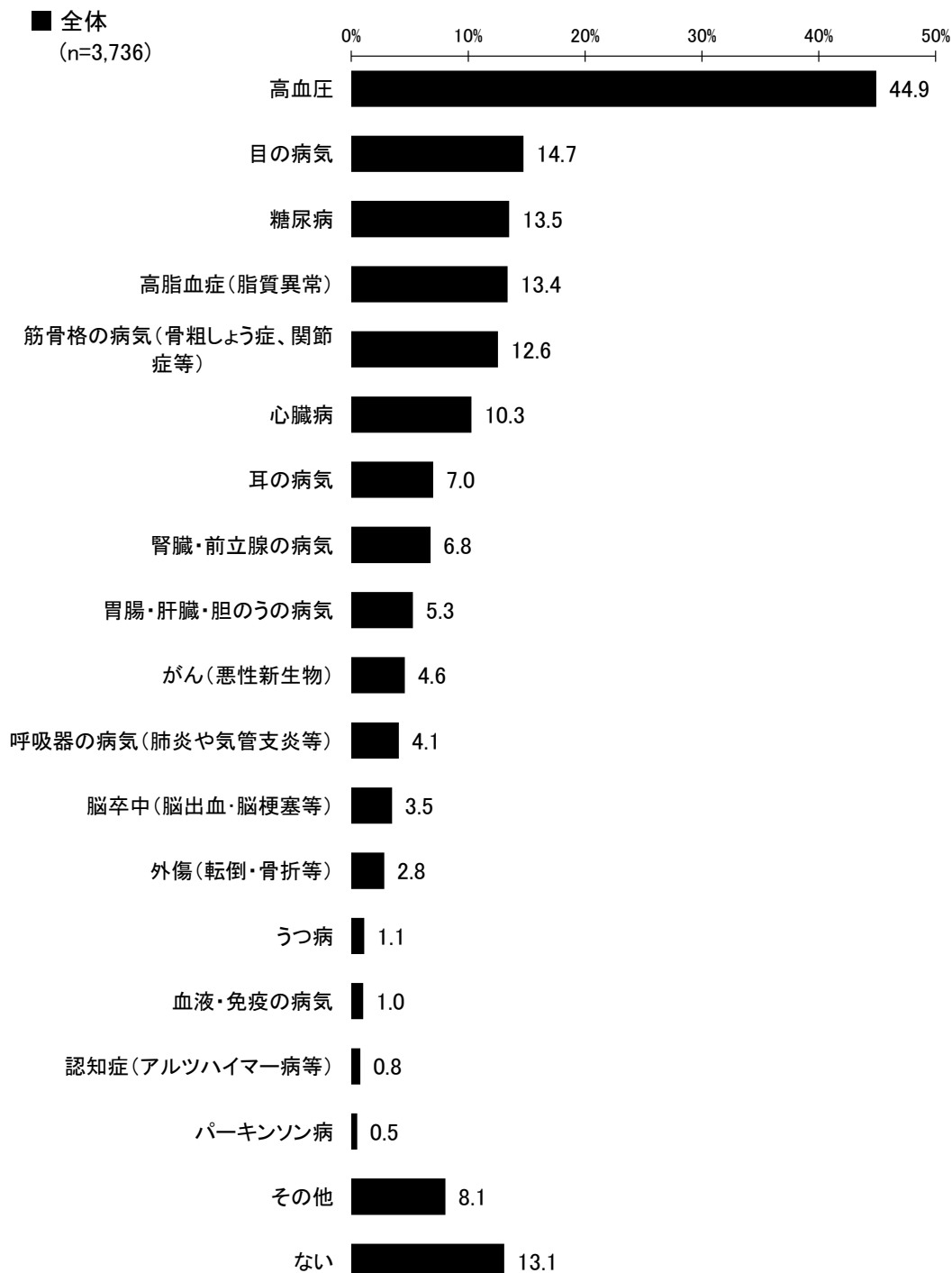
低得点群：6.3%、中得点群：45.2%、高得点群：43.0%



## (7) 現在治療中、または後遺症のある病気

### 問7 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか【複数回答】

現在治療中、または後遺症のある病気については、全体では「高血圧」の割合が44.9%で最も高く、次いで「目の病気」(14.7%)、「糖尿病」(13.5%)などの順となっています。



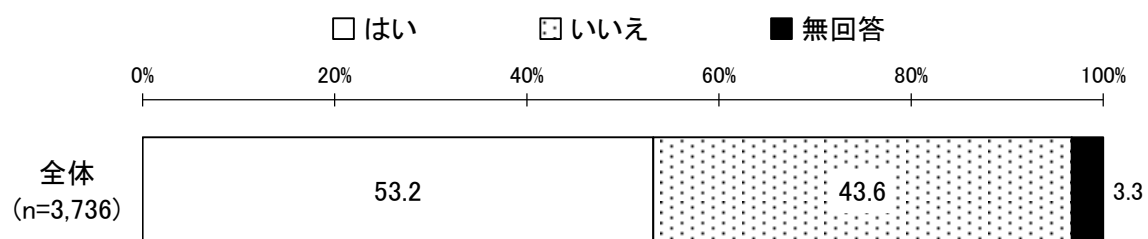
【複数回答】

## 8. 地域包括支援センターについて

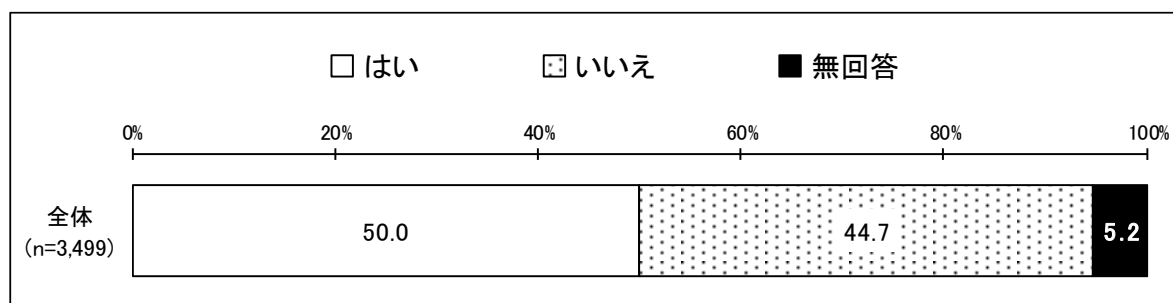
### (1) 地域包括支援センターの認知

#### 問8 (1) 地域包括支援センターを知っていますか

地域包括支援センターの認知については、全体では「はい」の割合が53.2%で、「いいえ」（43.6%）を上回っています。



#### <前回調査>

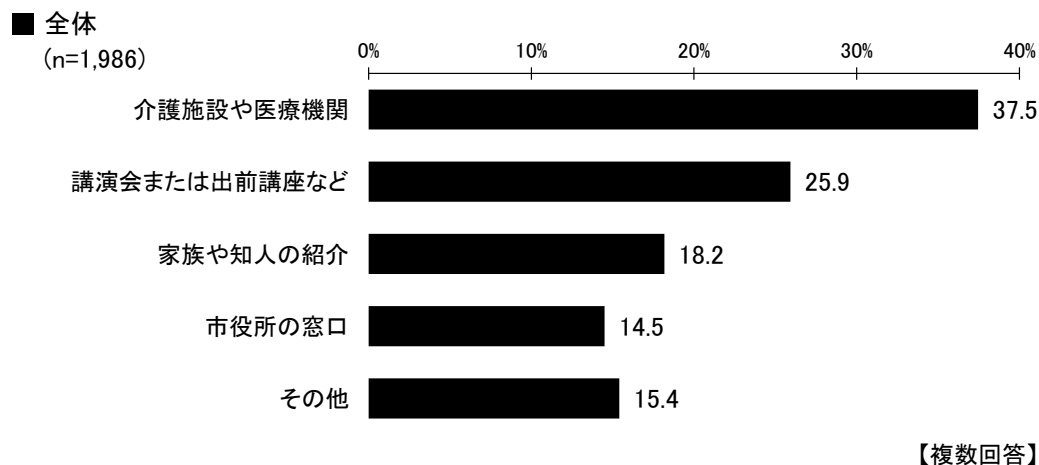


## (2) 地域包括支援センターを知ったところ

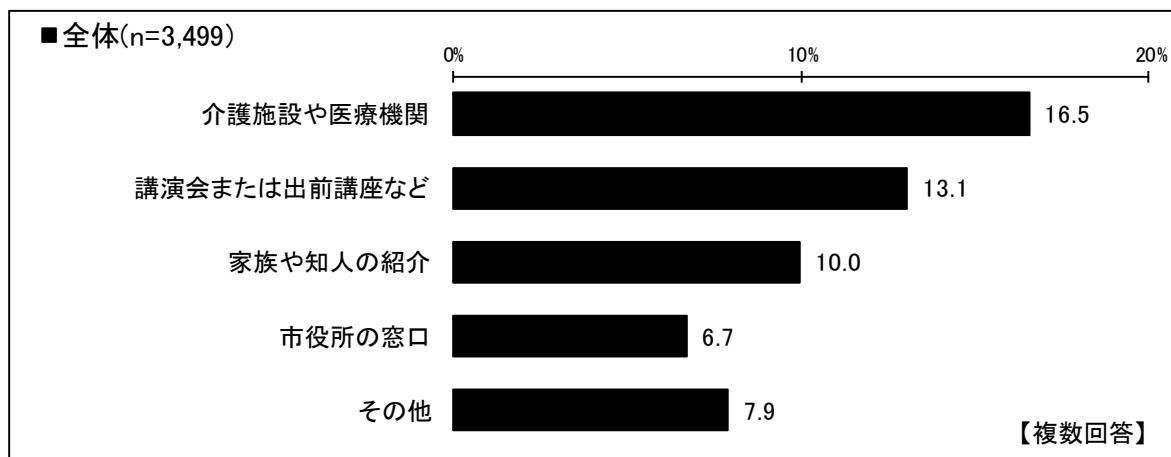
【問8(1)で「はい」を選択した方のみ回答】

問8(2)どこで(どんな時)知りましたか【複数回答】

地域包括支援センターを知ったところについては、全体では「介護施設や医療機関」の割合が37.5%で最も高く、次いで「講演会または出前講座など」(25.9%)、「家族や知人の紹介」(18.2%)などの順となっています。



< 前回調査 >

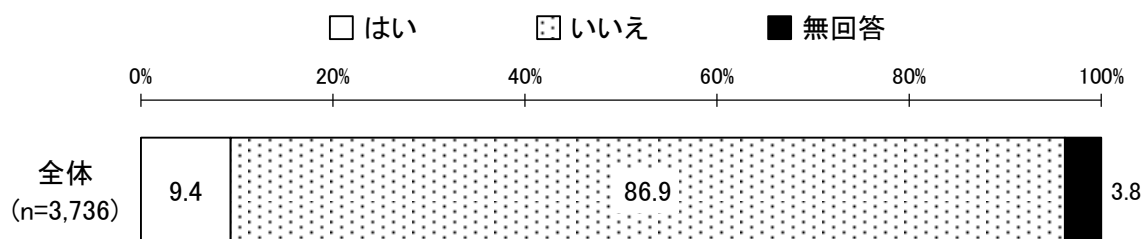


## 9. 認知症にかかる相談窓口の把握について

### (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる

#### 問9 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

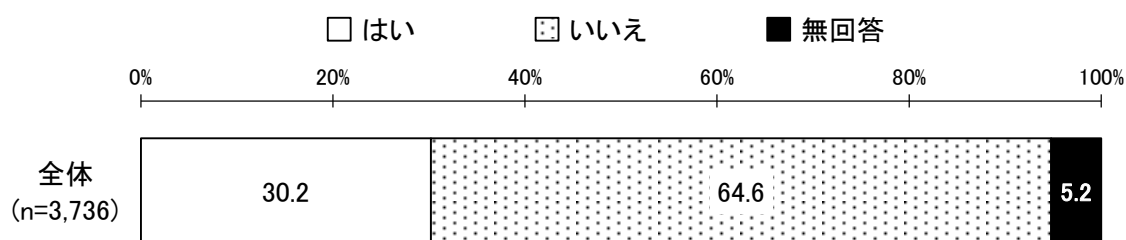
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについては、全体では「いいえ」の割合が86.9%で、8割半ばを占めており、「はい」(9.4%)を大きく上回っています。



### (2) 認知症に関する相談窓口を知っている

#### 問9 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、全体では「いいえ」の割合が64.6%で、「はい」(30.2%)を上回っています。

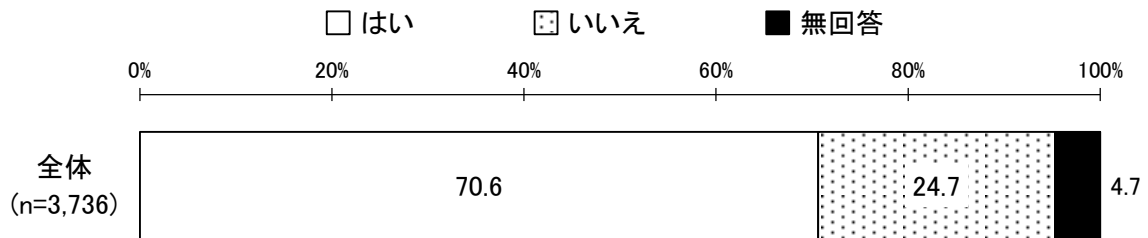


## 10. 認知症対策について

### (1) 認知症に対する不安

#### 問10 (1) 認知症に対する不安はありますか

認知症に対する不安については、全体では「はい」の割合が70.6%で、「いいえ」(24.7%)を上回っています。

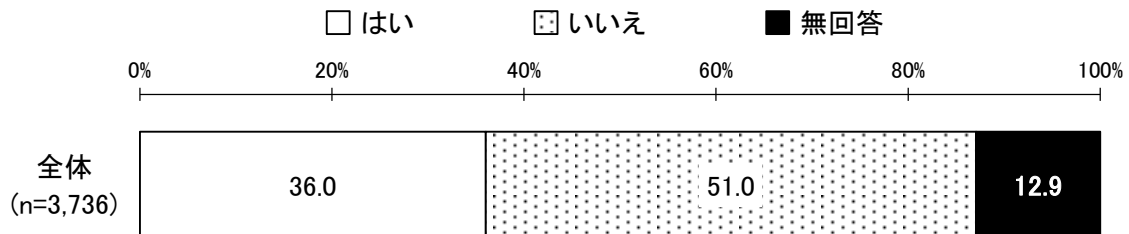


### (2) 軽度認知障害 (MCI) の認知

#### 問10 (2) 軽度認知障害 (MCI) ※はどのような状態か知っていますか

※軽度認知障害は、認知症になる一歩手前の予備群の状態、気づいて対応すれば、認知機能の低下を遅らせることができる状態です。

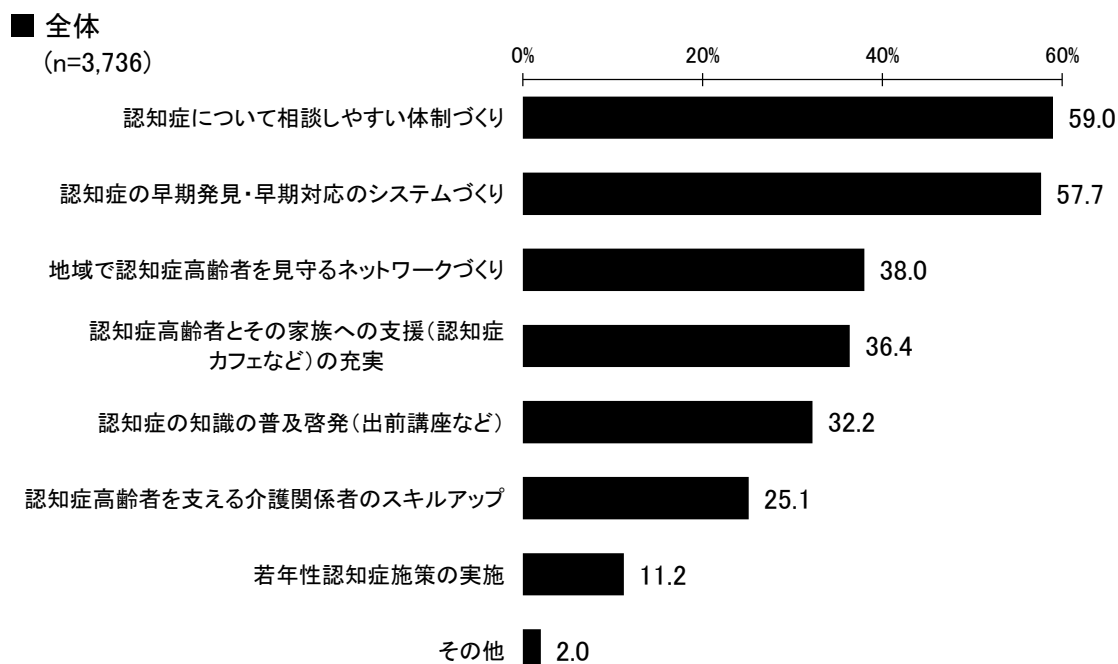
軽度認知障害 (MCI) の認知については、全体では「いいえ」の割合が51.0%で、「はい」(36.0%)を上回っています。



### (3) 認知症の人が地域で暮らしていくために必要な支援

問10 (3) 認知症の人が地域で暮らしていくために必要な支援は何だと思いますか  
【複数回答】

認知症の人が地域で暮らしていくために必要な支援については、全体では「認知症について相談しやすい体制づくり」の割合が59.0%で最も高く、次いで「認知症の早期発見・早期対応のシステムづくり」(57.7%)、「地域で認知症高齢者を見守るネットワークづくり」(38.0%)などの順となっています。



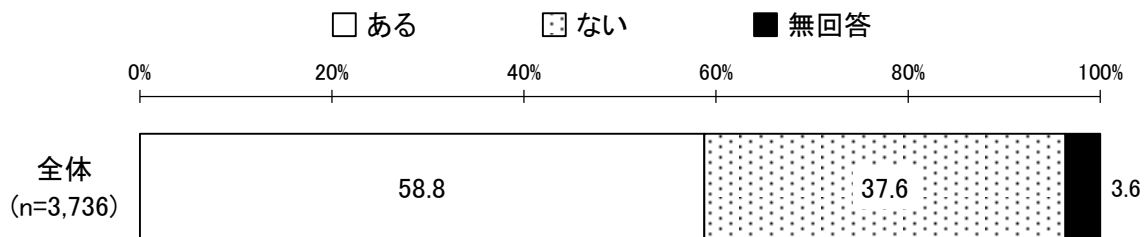
【複数回答】

## 11. 自身の人生の最終段階における医療について

### (1) 人生の最終段階における医療・療養について考えた経験

問11 (1) あなたは、人生の最終段階における医療・療養について、これまで考えたことがありますか

人生の最終段階における医療・療養について考えた経験については、全体では「ある」の割合が58.8%で、「ない」(37.6%)を上回っています。

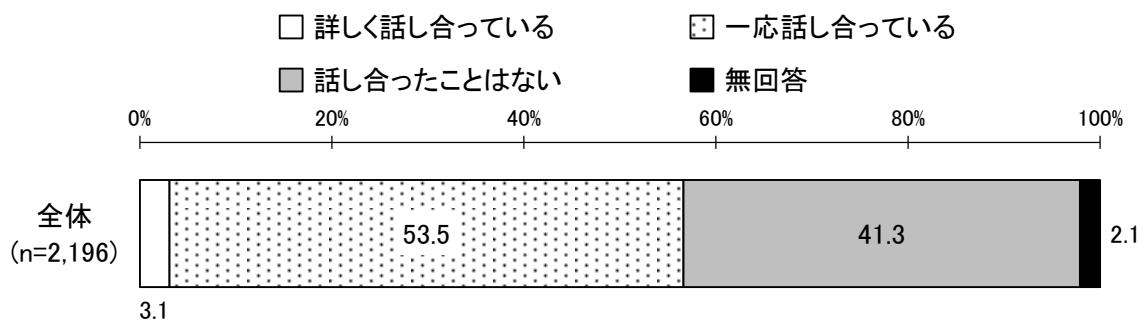


### (1) ①医療・療養について家族や医療介護関係者との話し合いの経験

【問11 (1) において「ある」を選択した方のみ回答】

問11 (1) ①医療・療養についてご家族や医療介護関係者と、話し合ったことがありますか

医療・療養について家族や医療介護関係者との話し合いの経験については、全体では「一応話し合っている」の割合が53.5%で最も高く、次いで「話し合ったことはない」(41.3%)、「詳しく話し合っている」(3.1%)の順となっています。



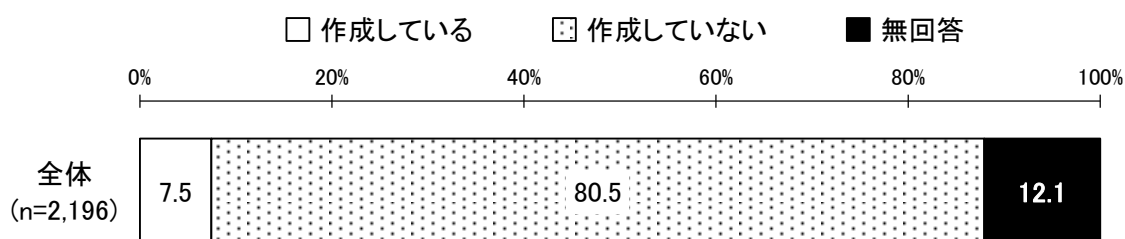
## (1) ②意思決定できなくなった時に備えた書面の作成

【問11(1)において「ある」を選択した方のみ回答】

問11(1) ②あなたは自分が意思決定できなくなった時に備えて、書面（※終活支援ノート等）を作成していますか

※終活支援ノートとは、自分が希望する医療や介護等について、周囲の人に伝えたい情報を書き記すものです。

意思決定できなくなった時に備えた書面の作成については、全体では「作成していない」の割合が80.5%で、8割を超えており、「作成している」（7.5%）を大きく上回っています。



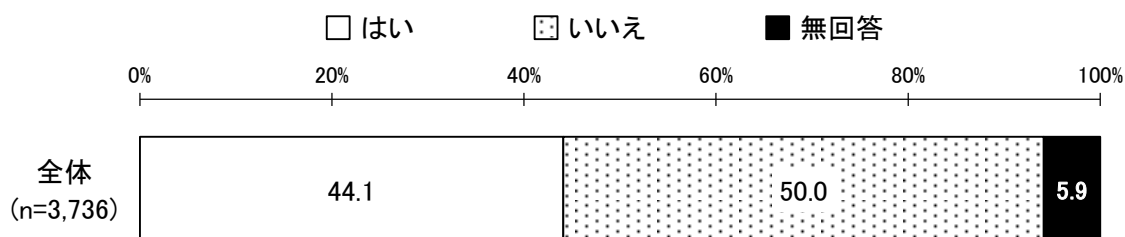
## 12. 成年後見制度について

### (1) 成年後見制度の認知

問12(1) 成年後見制度※を知っていますか

※成年後見制度とは、認知症等で判断能力が不十分な人の日常生活を法律的に支援する仕組みです。

成年後見制度の認知については、全体では「いいえ」の割合が50.0%で、「はい」（44.1%）を上回っています。





## 13. 今後の高齢者福祉施策について

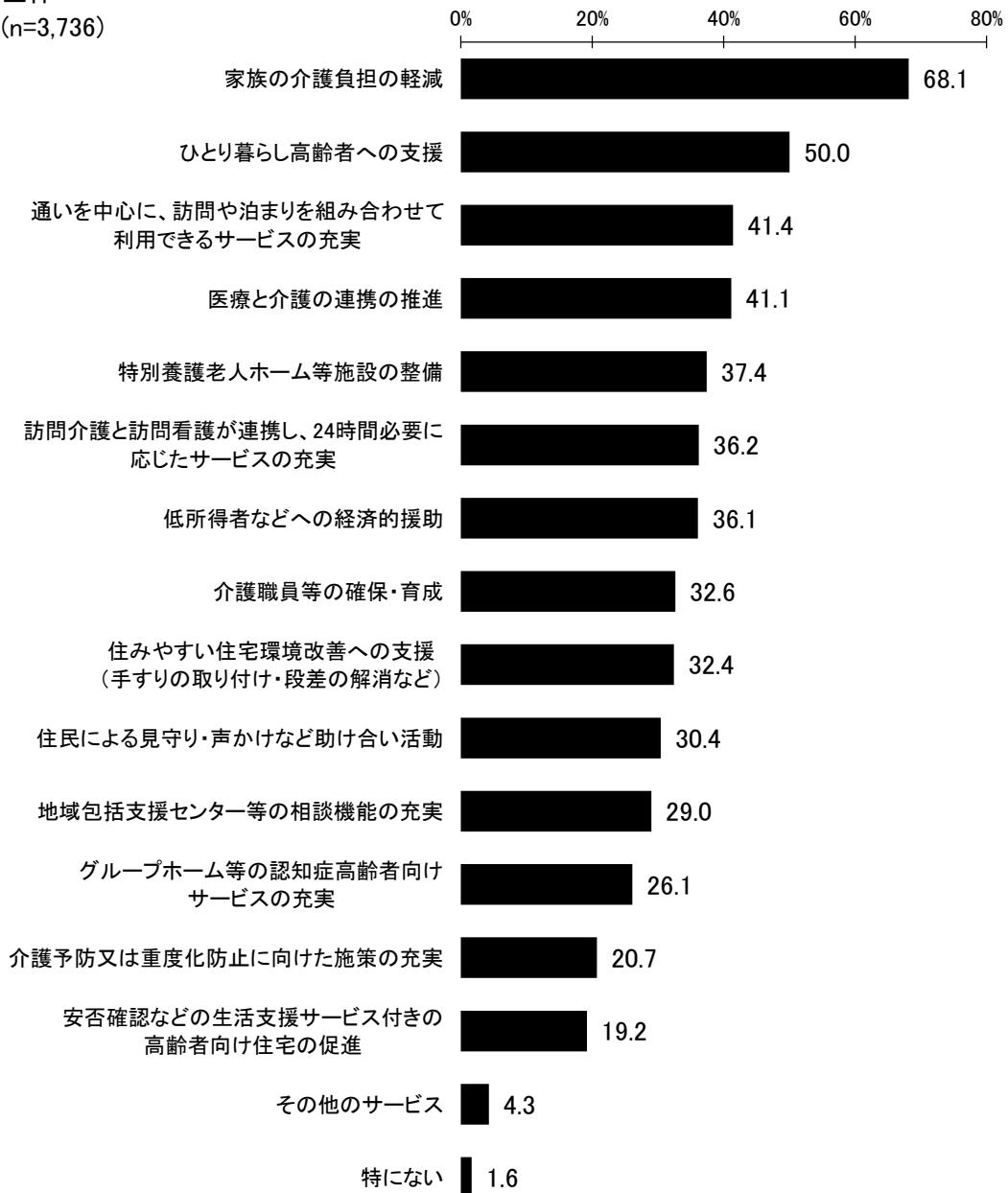
### (1) 高齢者保健福祉施策で市が力を入れていくべきもの

問13 (1) これからの高齢者保健福祉施策で市が力を入れていくべきものは何だと思えますか【複数回答】

高齢者保健福祉施策で市が力を入れていくべきものについては、全体では「家族の介護負担の軽減」の割合が68.1%で最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者への支援」(50.0%)、「通いを中心に、訪問や泊まりを組み合わせ利用できるサービスの充実」(41.4%)などの順となっています。

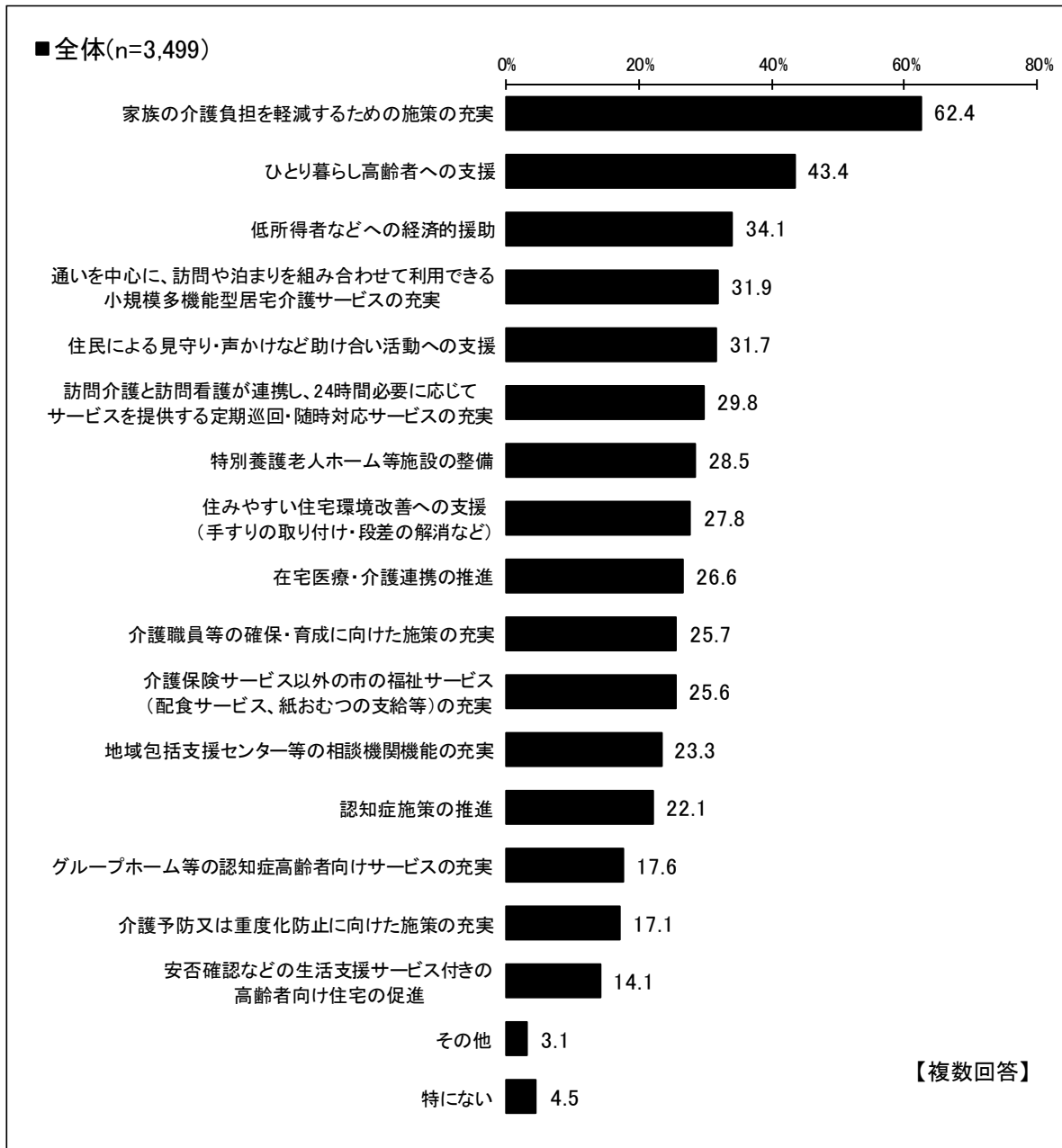
#### ■ 全体

(n=3,736)



【複数回答】

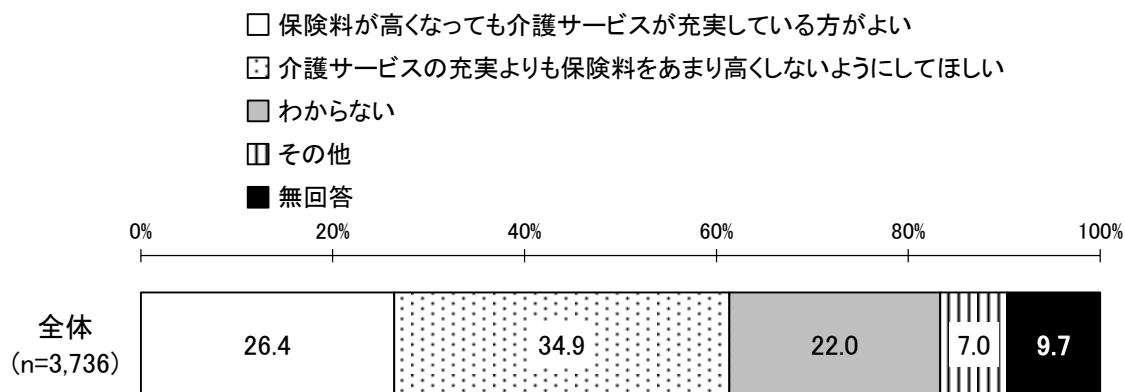
< 前回調査 >



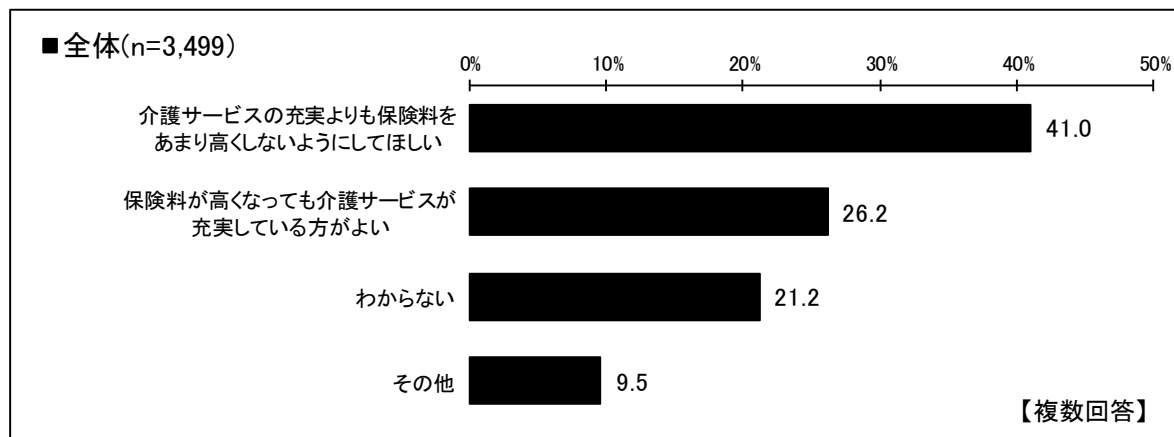
## (2) 今後の介護保険料について

問13 (2) 今後、高齢者が増加していくにつれて介護保険料が高くなることが想定されますが、あなたは、今後の介護保険料についてどう思いますか

今後の介護保険料については、全体では「介護サービスの充実よりも保険料をあまり高くしないようにしてほしい」の割合が34.9%で最も高く、次いで「保険料が高くなっても介護サービスが充実している方がよい」(26.4%)、「わからない」(22.0%)などの順となっています。



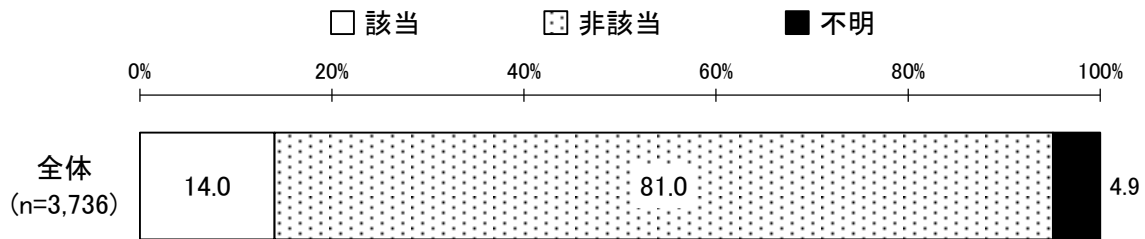
### < 前回調査 >



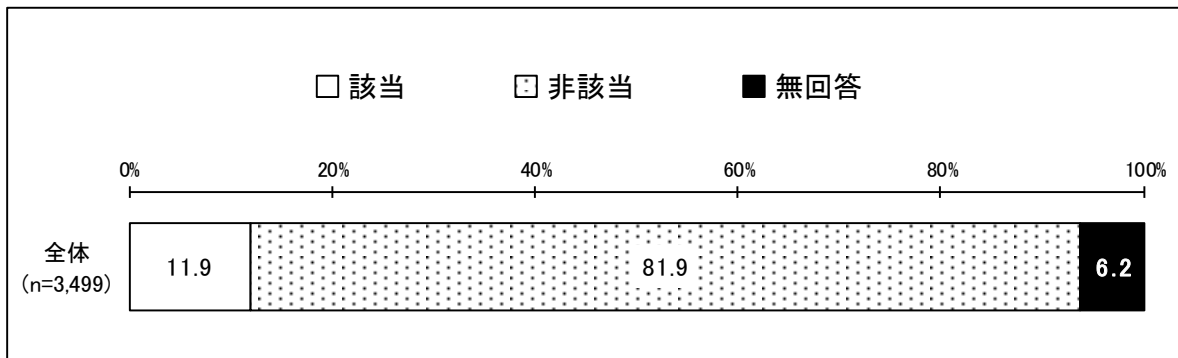
## 14. 基本チェックリストによる判定について

### 運動器機能リスク判定

運動器機能リスク判定については、全体では「非該当」の割合が81.0%で、8割を超えており、「該当」（14.0%）を大きく上回っています。

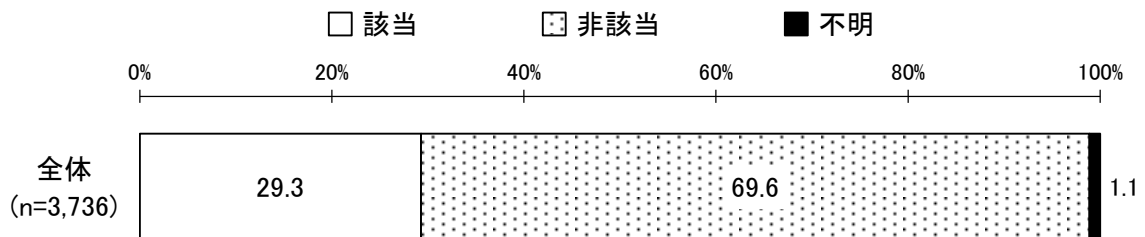


< 前回調査 >

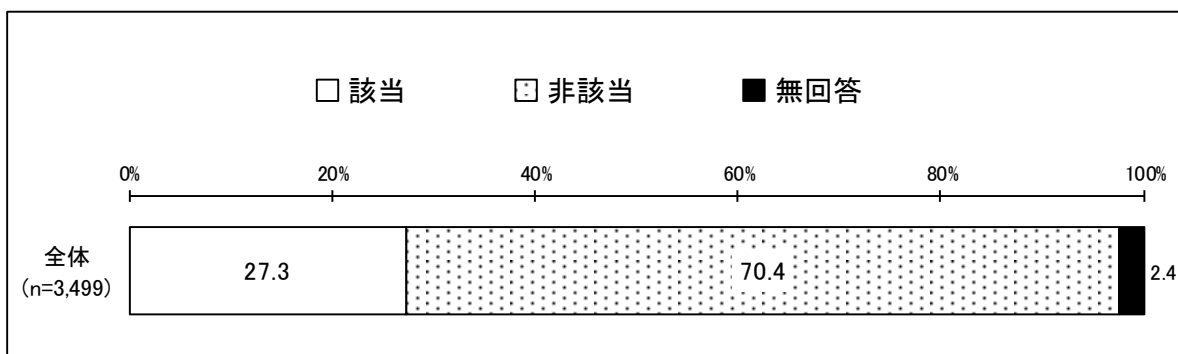


### 転倒リスク判定

転倒リスク判定については、全体では「非該当」の割合が69.6%で、「該当」（29.3%）を上回っています。

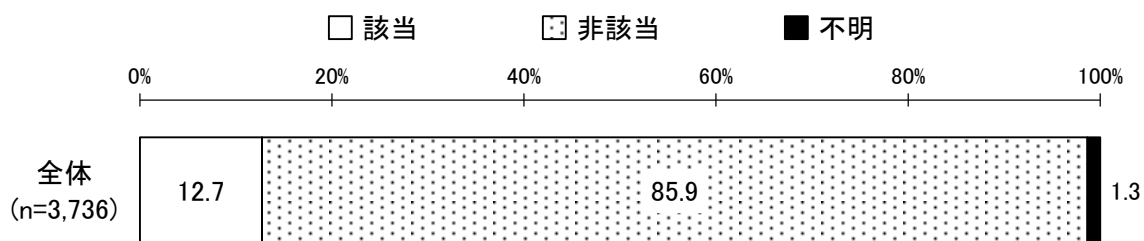


< 前回調査 >

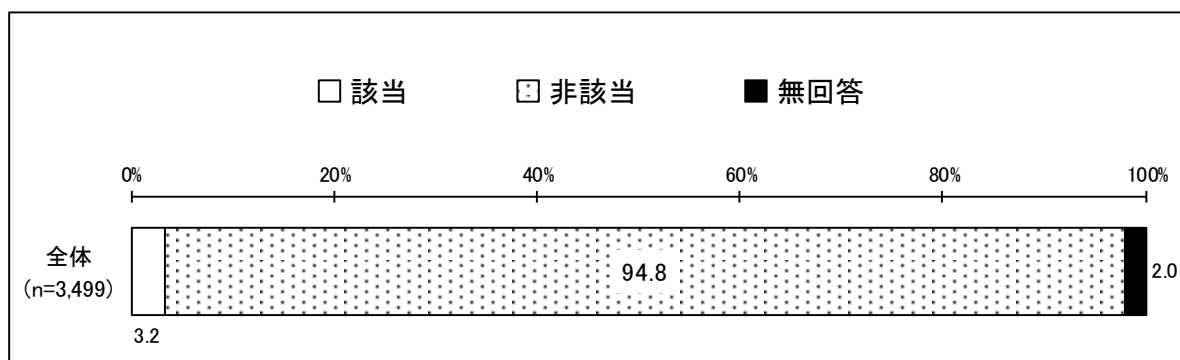


## 閉じこもりリスク判定

閉じこもりリスク判定については、全体では「非該当」の割合が85.9%で、8割半ばを占めており、「該当」（12.7%）を大きく上回っています。

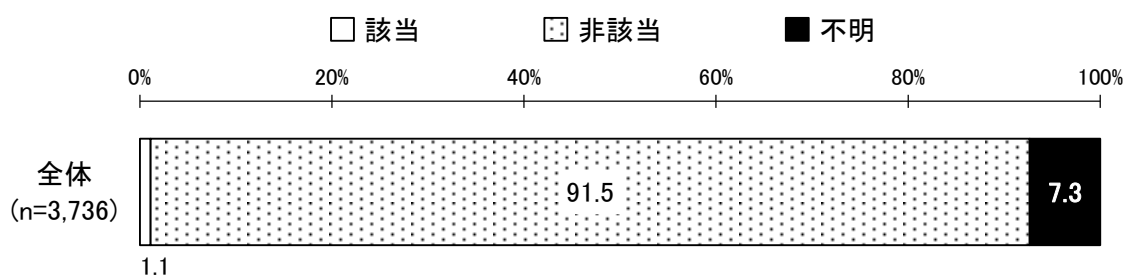


< 前回調査 >

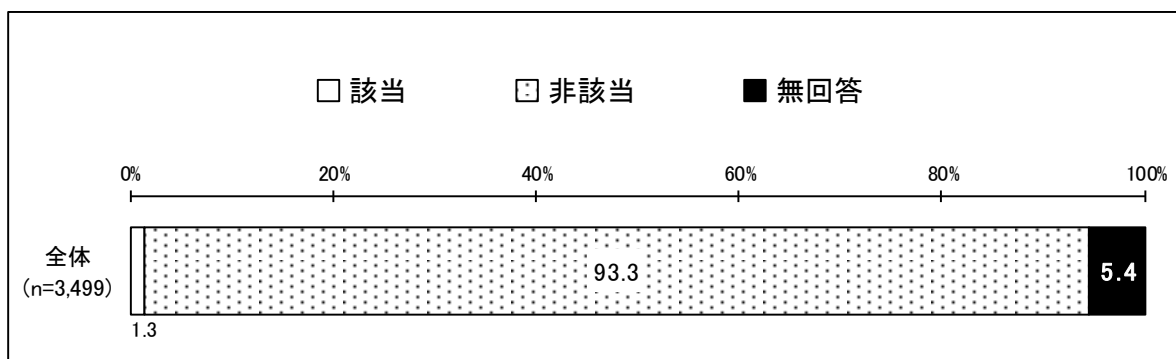


## 低栄養リスク判定

低栄養リスク判定については、全体では「非該当」の割合が91.5%で、ほとんどの割合を占めています。なお、「該当」の割合は1.1%となっています。

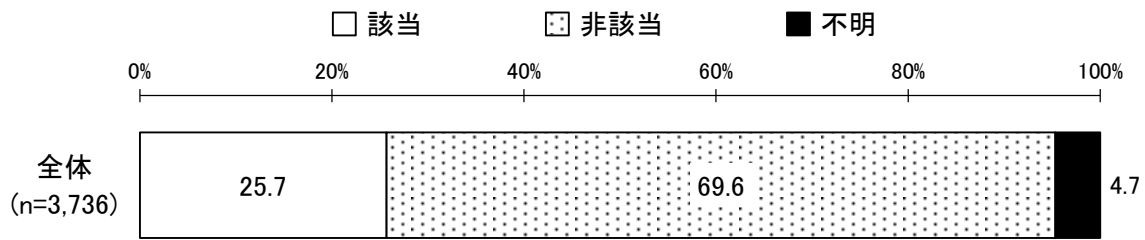


< 前回調査 >

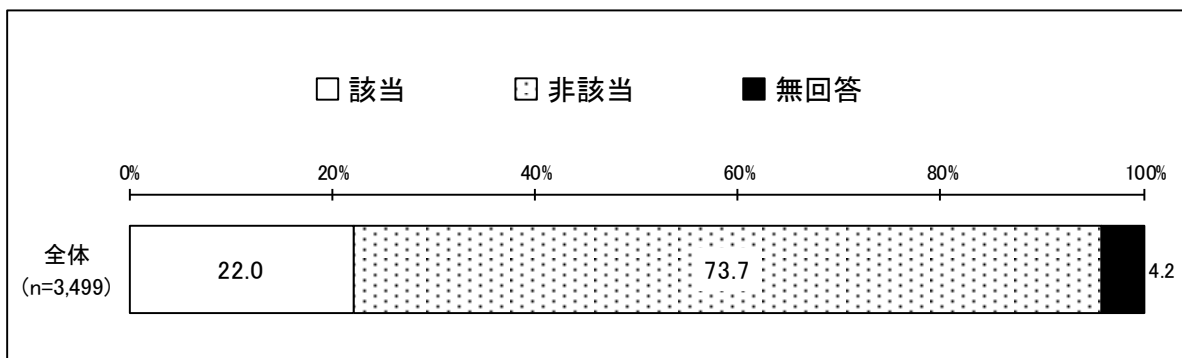


## 口腔機能リスク判定

口腔機能リスク判定については、全体では「非該当」の割合が69.6%で、「該当」(25.7%)を上回っています。

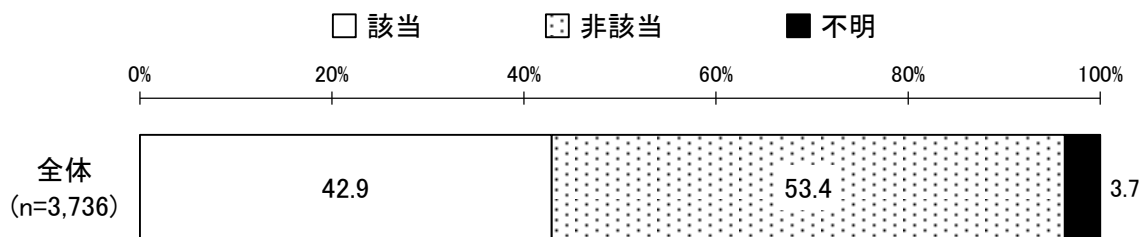


<前回調査>

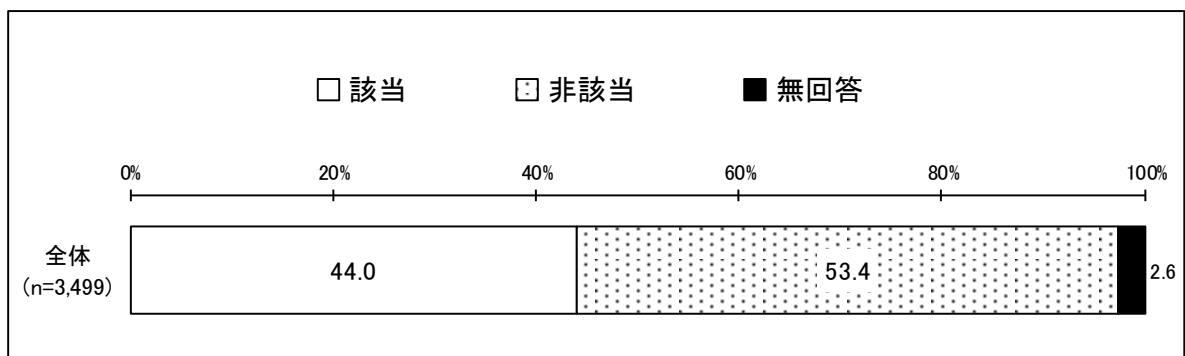


## 認知機能リスク判定

認知機能リスク判定については、全体では「非該当」の割合が53.4%で、「該当」(42.9%)を上回っています。

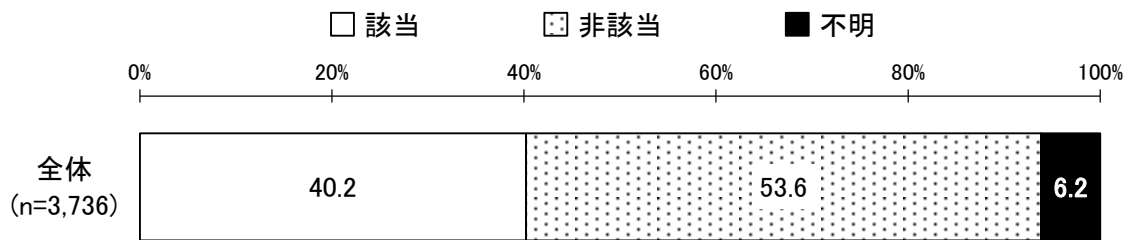


<前回調査>

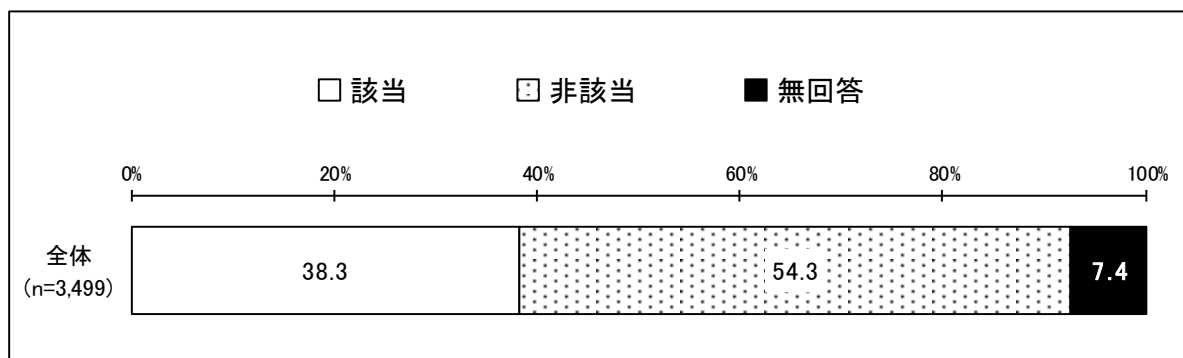


## うつ傾向リスク判定

うつ傾向リスク判定については、全体では「非該当」の割合が53.6%で、「該当」(40.2%)を上回っています。

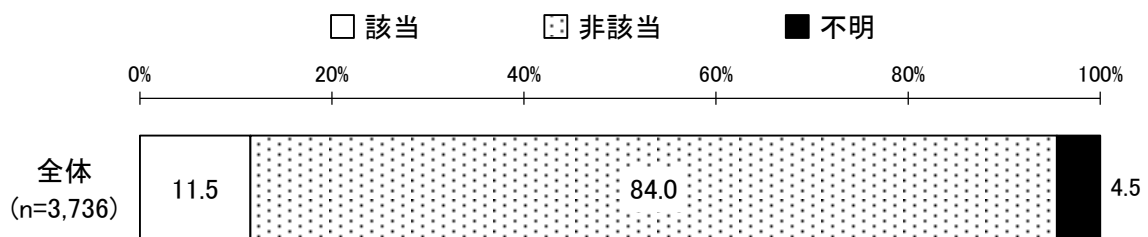


### < 前回調査 >



## IADLリスク判定

IADLリスク判定については、全体では「非該当」の割合が84.0%で、8割半ばを占めており、「該当」(11.5%)を大きく上回っています。



【基本チェックリスト判定の参考設問】

生活機能別	設 問 内 容	選 択 肢		判定基準
運動器機能 (5問)	問2(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない	3設問以上 該当
	問2(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない	
	問2(3) 15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない	
	問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある	3. ない	
	問2(5) 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である	3. あまり不安でない 4. 不安でない	
転倒 (1問)	問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある	3. ない	設問に該当
閉じこもり (1問)	問2(6) 週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回	3. 週2~4回 4. 週5回以上	設問に該当
低栄養 (2問)	問3(1) 身長、体重(BMI算出)	BMI 18.5以下	BMI 18.5より大きい	2設問とも 該当
	問3(7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい	2. いいえ	
口腔機能 (3問)	問3(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	2. いいえ	2設問以上 該当
	問3(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	2. いいえ	
	問3(4) 口の渇きが気になりますか	1. はい	2. いいえ	
認知機能 (1問)	問4(1) 物忘れが多いと感じますか	1. はい	2. いいえ	設問に該当
うつ傾向 (2問)	問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい	2. いいえ	いずれか1つ でも該当
	問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい	2. いいえ	
IADL (5問)	問4(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない	1問該当で 1点とし、 5点=「高い」 4点=「やや低い」 3点以下=「低い」 4点以下がリスク者とする
	問4(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない	
	問4(6) 自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない	
	問4(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない	
	問4(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない	

※網掛けは判定基準に該当する選択肢です。



## Ⅲ. 結果の概要

### まとめ

- 高齢による衰弱や骨折・転倒を予防するため、介護予防と重度化防止に重点を置くこと、また、主な介護・介助者の半数以上が家族の方であることから、家族（介護・介助者）への支援の充実を図ることが重要である。【P4、問1(6)①】 【P5、問1(6)②】
- 「趣味のある人」は7割ほどいるが、思いつかない人も2～3割程度いる。「生きがいのある人」は6割ほどで、思いつかない人が3～4割いる。「地域活動へ参加していない人」も3割程度いる。これらの項目は、前回と比較してもあまり割合が変わっていないことから、生きがいづくりや他者との交流を図る機会を提供することが重要である。【P12、問4(14)(15)】 【P14、問4(2)】
- 地域包括支援センターの認知度が前回調査の50%から53%に上がっている。前回と比較すると知っている人の割合は増えてきているが、知らない人が4割程いることから身近な相談先としての体制の見直しと、更なる普及啓発が必要である。【P22、問8(1)(2)】 【P24、問9(2)】
- 認知症に関する相談窓口を知らない人が6割程度いることや7割の人が認知症への不安を持っていること、また、認知症の人が地域で暮らしていくために必要な支援として、「認知症について相談しやすい体制づくりや早期発見・早期対応のシステム作り」が必要との回答結果から、相談窓口の周知や出前講座、講演会の充実による正しい知識の伝達、早期発見・対応の施策の充実が必要である。【P24、問9(2)】 【P25、問10】
- 今後、高齢者保健福祉施策で市が力をいれていくべきものは、前回の1位2位と同じ「家族の介護負担の軽減」や「ひとり暮らし高齢者への支援」で、引き続き求められている。【P29、問13(1)】
- 今後の介護保険料については、前回同様「介護サービスの充実よりも保険料をあまり高くしないこと」が求められている。（前回41%から今回34.9%に割合は減っている）【P31、問13(2)】
- リスク判定で30%を超えていたものは、「認知機能」と「うつ傾向」であり、特にこの2つのリスク軽減に向けた取組が重要である。また、転倒リスクについても注意が必要といえる。【P32～P36】